

文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

“晴れの舞台”で働く体験から学び、「社会生活力」を身につける

学習プログラムを地域連携により拡大促進し、社会参画へとつなげていく実践研究

社会生活力学習度 アンケート調査・検証結果



アンケートの調査方法

■ 期間

2021年4月7日 - 2022年1月15日

■ 対象

～川崎市～

- ① プログラムに参加者した福祉事業所の参加者様
- ② プログラムに同行・見学参加した福祉事業所の支援員様
～その他地域～
- ③ プログラムに参加者した福祉事業所の参加者様
- ④ プログラムに同行・見学参加した福祉事業所の支援員様

■ 実施方法

就労体験プログラム参加後、翌日以降にアンケートに回答

■ アンケート内容

スポーツやエンターテインメントのワクワク・ドキドキするような“晴れの舞台”において、“働く”“他者と関わる”という体験を通じて学び、社会の中で混ざりあいながら様々な経験を重ねることは、自らの新たな可能性を伸ばし、自立した豊かな人生を送るために必要な“社会生活力”を身につけるきっかけとなる。

この仮説を元に参考指標として、特別支援学校、福祉事業所、社会教育の現場等で活用されている、障害のある人が自立し豊かな生活を送る力“社会生活力”を高めるためのトータルプログラム・マニュアル「自立を支援する社会生活力プログラム」のモジュールに沿って内容を構築。

プログラム参加「前・当日・後」で、それぞれどのような学びがあったのかを調査・検証した。

※アンケート詳細は次ページ



「自立を支援する社会生活力プログラム・マニュアル」
中央法規出版(2006/04)
(著) 奥野 英子, 佐々木 葉子, 興梠 理, 関口 恵美, 大場 龍男

第1部 生活の基礎をつくる

- モジュール1 健康管理
- モジュール2 食生活
- モジュール3 セルフケア
- モジュール4 時間管理
- モジュール5 安全・危機管理

第2部 自分の生活をつくる

- モジュール6 金銭管理
- モジュール7 住まい
- モジュール8 そうじ・整理
- モジュール9 買い物
- モジュール10 衣類管理

第3部 自分らしく生きる

- モジュール11 自分と障害の理解
- モジュール12 コミュニケーション
と人間関係
- モジュール13 男女交際と性
- モジュール14 結婚
- モジュール15 育児

第4部 社会参加する

- モジュール16 情報
- モジュール17 外出
- モジュール18 働く
- モジュール19 余暇
- モジュール20 社会参加

< 就労体験プログラム参加者用 >

就労体験アンケート（参加者様用）

以下の項目について、アンケートに御協力をお願いします。

質問	答え（該当するところに○をつけてください）
参加した日付、体験名の記入をお願いします。	月 日 1.サッカー 2.バスケット 3.その他()
(1) あなたの年齢を教えてください。	年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代
(2) あなたの就労経験の有無を教えてください	A. 企業 就 労 経 験 : あり (年 前) なし B. 福祉事業所就労経験 : あり なし
(3) あなたの障害の有無について教えてください。障害のある方は○をつけてください。 ※精神障害のある方は、疾患名について可能な限りお答えをお願いします。	1. 障害なし 2. 障害あり ・障害者手帳は所持していない ・身体障害 () ・知的障害 (B2 B1 A2 A1) ・精神障害 (3級 2級 1級)→主な疾患名() ・発達障害 高次脳機能障害 難病
(4) 就労体験の参加回数を教えてください。	初めて 2～5回目 5～10回目 11回目以上 20回以上
(5) 今回は、なぜ参加しようと思いましたか？	
(6) 今回は、どんなお仕事をしましたか？	
(7) 就労体験に参加する前日に、気をつけたこと、やってみたことはありますか？ (当てはまるものすべてに○)	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を切る歯を磨くなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(8) 就労体験当日に、気をつけたこと、やってみたことはありますか？ (当てはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.休憩時間を大切にす 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事中の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいさつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(9) 就労体験に参加した後に、気をつけるようになったこと、チャレンジしてみたことはありますか？ (当てはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.睡眠時間 2.食生活 3.身だしなみ(清潔にする) 4.時間の管理 5.通勤中や仕事中の安全や危険について 6.お金の管理(貯める、使い方など) 7.住んでいる家について(引越し・模様替えなど) 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買物の計画 10.洋服について(洗濯、お手入れ、購入など) 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれかやりたこと(趣味・仕事など)を考える 20.社会に参加すること
(10) 就労体験に参加して、学んだこと、勉強になったことがあれば教えてください。	
(11) 就労体験に参加して、自分の中で変わったこと、気づいたことがあれば教えてください	
(12) 普段の生活で、当てはまるもの(近いもの)を選んでください。	1. 平日は家と事業所の往復が多い 2. 平日も夜などに出かけることがある 3. 土日祝日は外に出かける 4. 土日祝日は全く出かけるない
(13) 就労体験で学んだことは、これからの生活してい中で、また社会に出ていく時に、役に立つと思いますか？	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない 6. わからない
(14) その理由や、その他感想や、ご不満点など、伝えたいことなどあれば自由に記入ください	

御協力ありがとうございました。

< 同行した支援員様用 >

アンケート(支援者様用)

アンケートに御協力をお願いします。いただいた内容は、本企画の実践・研究以外には使用いたしません。利用者さん個々で異なると思いますが、全体を通しての御意見で御回答をいただければと存じます。

質問	答え（該当するところに○をつけてください）
参加した日付と体験名の記入をお願いします	月 日 1.サッカー 2.バスケット 3.その他()
(1) 今回、参加された支援をしている方(利用者さん)の主な状態を教えてください。	1. 社会に出ていきさつを作っているところ 2. 企業就労に向けて事業所に通い始めたところ 3. 企業就労を具体的に目指して活動しているところ 4. その他()
(2) 今回、利用者さんを参加させようと思った動機・目的は何ですか？(自由記述)	
(3) 就労体験に参加する前日、右の中から利用者さんが気をつけていたことがあれば教えてください。 (当てはまるものすべてに○)	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を切る歯を磨くなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(4) 就労体験の当日に、右の中から利用者さんが気をつけていたこと、チャレンジしていたことはありますか？ (当てはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.休憩時間を大切にす 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事中の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいさつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(5) 利用者さんが就労体験を経験してから、変わったこと、気をつけるようになったこと、チャレンジするようになったことなどはありますか？ (当てはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.睡眠時間 2.食生活 3.身だしなみ(清潔にする) 4.時間の管理 5.通勤中や仕事中の安全や危険について 6.お金の管理(貯める、使い方など) 7.住んでいる家について(引越し・模様替えなど) 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買物の計画 10.洋服について(洗濯、お手入れ、購入など) 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれかやりたこと(趣味・仕事など)を考える 20.社会に参加すること
(6) 今回の就労体験は、日常の支援とは違う部分で、利用者さんへどういった学びや気づきがあると感じましたか (自由記述)	
(7) 利用者さんが就労体験で学んだことは、これからの生活や社会に出ていくにあたり役に立つと思いますか？	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない 6. わからない
(8) 就労体験終了後に、利用者さんと振り返りの場や、感想や思いなどを共有する場は設けていますか？	1. 毎回設けている 2.たまに設けている 3. 設けていない 4. 体験中に共有している 5.その他()
(9) その他、感想や伝えたいこと、ご不満点やご要望、改善希望点やアイデア等、自由に記入ください。	

御協力ありがとうございました。

当プログラムが寄与する学びの領域

自立を支援する社会生活力プログラム (SFA II) のモジュールに照らし合わせた学び

健康管理 (モジュール1)

食生活 (モジュール2)

セルフケア (モジュール3)

時間管理 (モジュール4)

安全・危機管理
(モジュール5)

金銭管理 (モジュール6)

住まい (モジュール7)

そうじ・整理 (モジュール8)

買い物 (モジュール9)

衣類管理 (モジュール10)

自分と障害の理解
(モジュール11)

コミュニケーションと人間関係
(モジュール12)

情報 (モジュール16)

外出 (モジュール17)

余暇 (モジュール19)

社会参加 (モジュール20)

働く (モジュール18)

STEP 4 仕事の応用

働く
(正規就労・アルバイト)
継続して働く (定着)

STEP 3 仕事の基礎

働くこと・自分・職業・仕事
を知り理解する

STEP 2 社会

社会に出る・人と関わる

STEP 1 生活

自己管理
ライフサイクルの確立

学校から社会の移行期
自立に向けた生涯の各ライフステージ

就労定着が困難な場合でも新しく見出せる働き方

社会生活力 (Social Function Ability)

アンケート調査・検証結果①

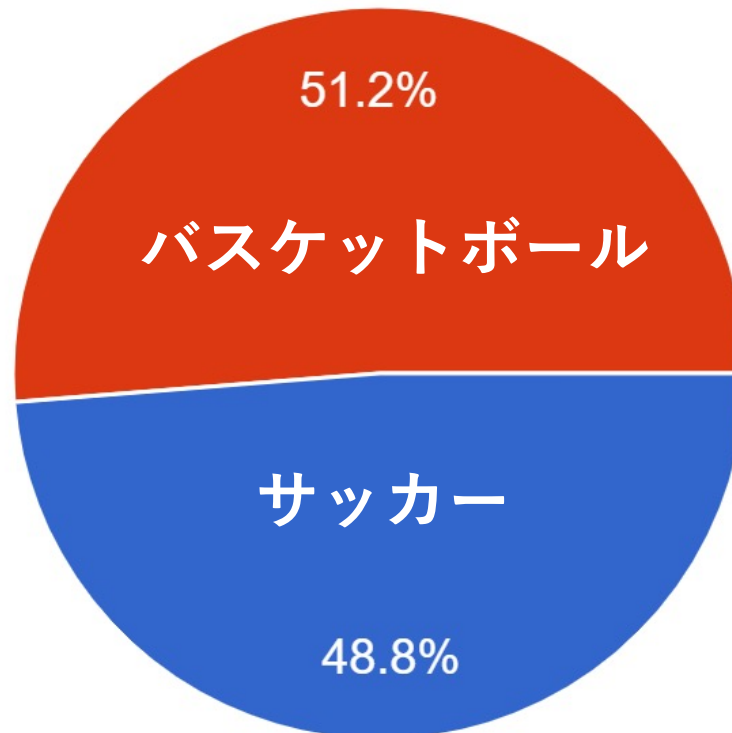
プログラムに参加した川崎市内福祉事業所
参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様アンケート結果（有効回答数：80名）

< 体験プログラム >

- バasketボールの参加者が5割、サッカーの参加者が5割
- 参加比率は実施プログラム数と比例している



アンケート調査・検証結果①

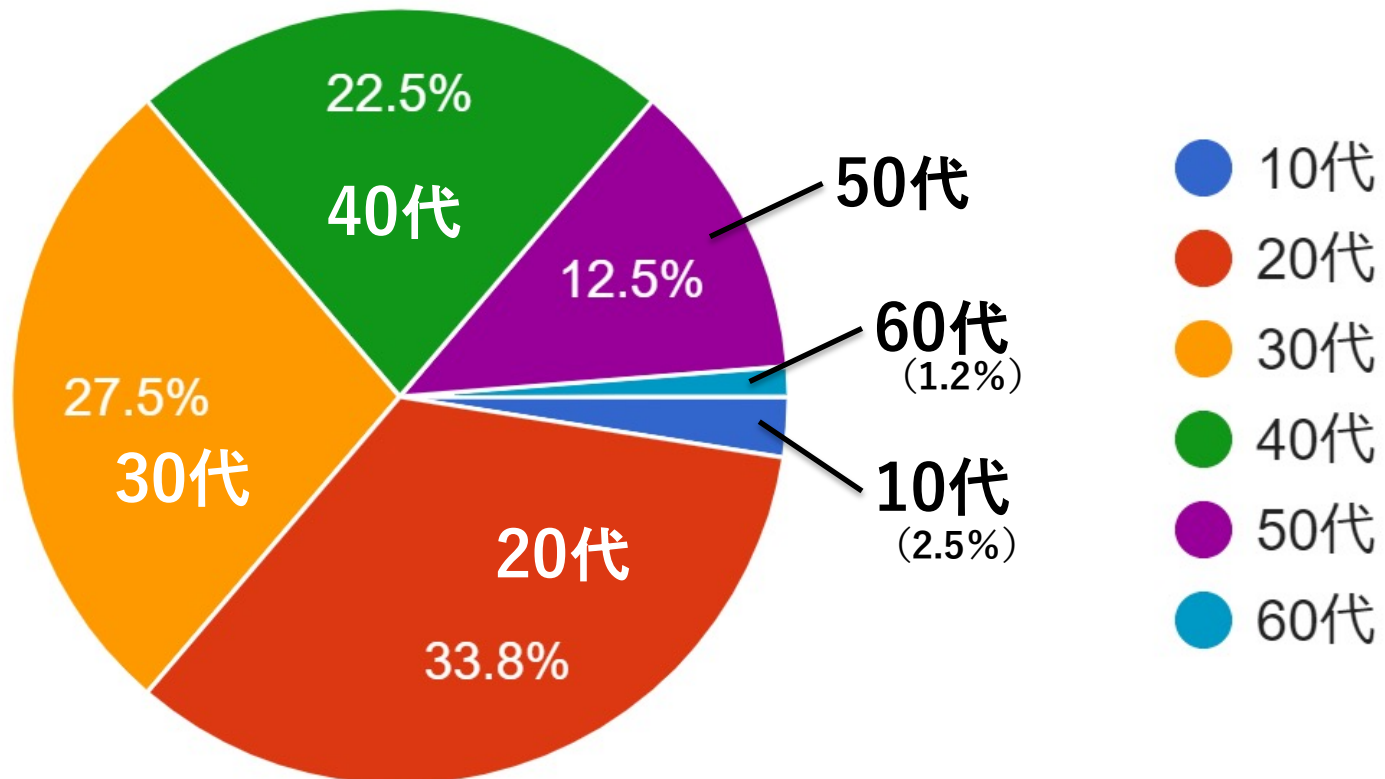
就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様アンケート結果（有効回答数：80名）

< 年代 >

■ 10代から60代までと、参加者の年齢層は幅広い

■ 20代から50代までが全体の9割以上を占める

※ 昨年より30代が1.5割増、20代が2割減、40代、50代が1.5割増



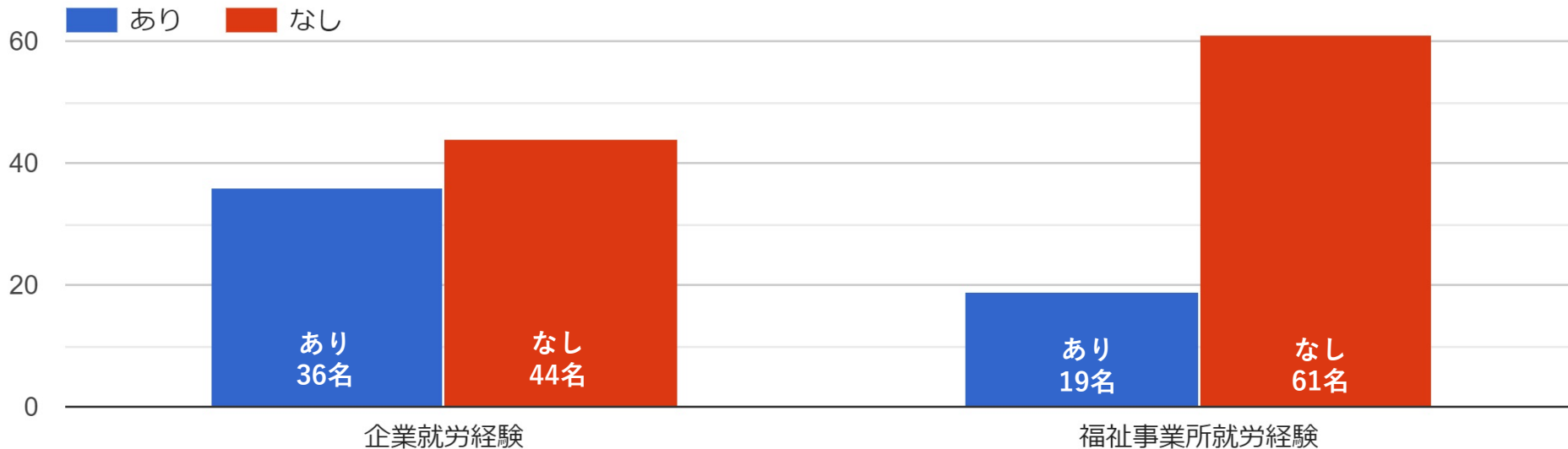
アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様アンケート結果（有効回答数：80名）

< 就労経験の有無 >

- 企業への就労経験がある方は約4割、福祉事業所での就労(A型事業所通所) 経験がある方は2割
- 障害者が社会に出て学ぶ・働くといった経験や機会が少ないことがわかる
- 一度参加して社会に出た方が諸般の事情で事業所に復帰し、このプログラムに再び参加されることもあり、いつでも戻ってこれる場所にもなっている

※ 昨年より企業への就労経験がある方が1割増



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様アンケート結果（有効回答数：80名）

< プログラムに参加した理由（自由記述で77名の回答） >

- 色々な経験を積みたい、社会経験をしたい、挑戦したい、実際に就労を見据えて、実践の場として活用している、プログラムへのやりがい、学んだことを普段の活動で活かしたい、という声が多数あった

※ 昨年と比べて人と接する機会を求めて参加している方が減っている。

コロナ禍が長引いたことにより、人との接触を避ける生活様式が根付いたことが関係していると考えられる

やりたかったから。

今までやってみたかった仕事をしようと思いました。

社会活動に参加するため。

交通費が欲しかったので。

体験を通して社会になれるため。

社会活動に参加したかったから。

体力をつけたかった。

様々な就業体験を積みたかったから。

消毒。

外部での仕事をやりたいと思い参加しました。

なんとなく（やりたかったから）。

参加してみたかったから。

交通費のため。

早めに自立したいと思って参加しようと思いました。

就労準備のはじめの一步として。

おもしろそうだったから。

経験してみたかったからです。

就労体験のお話をいただいたので。

自分に向いている仕事探しのためです。

色々な就労体験を行い、自分に合った仕事を探すため。

どのようなものか知りたかった。1人前になりたい。

仕事をするために。

前回参加させていただいて非常にやりがいがあった。

サッカー場に行ってみたかったから。

たくさん経験を積みたいと思い。

紹介されて。

就労の準備のため。

初体験で参加希望を試みた。

職員から声かけをしてもらいました。

働くため。

就労に向けて活動していて、お話をいただいたので参加してみたいと思いました。

なんとなく。

おもしろそうだったから。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

交通費が欲しかった。

テーブル拭きがしたかった。

やってみたかった。

外部の作業もやりたいと思いました。

就職したいと思い参加しました。

また参加したいと思ったからです。

わーくすの仕事が増やすように。

就職をしようと思い就労体験に参加しました。

外の仕事もやりたいと思って。

お金が欲しかったから。

掃除だったので参加しました。

外での仕事やりたかったから。

やってみたいから。

紹介。

等々力競技場に入ってみたかったから。

スタッフの提案。

幼い頃からフロンターレを応援していて運営のお手伝いができることに

喜びを感じて参加しました。

スタッフさんからご提案があり、貴重な体験ができるかなと思い参加しました。

実習ステージに入り、就労体験を行ってみたかったのと、スタッフさんの勧めもあり、参加しました。

楽しそうだから。

現時点でどのくらい体力があるのかを確認。

体力を試したい、指示を正確に受け取れるか訓練したい。

経験。

今後のため。

経験を通じて社会に触れるため。

スタッフからの誘いがあり、初めてのことに取り組み自分の糧になると
思い参加しました。

自分にどのような仕事が適しているか考えるため。

毎回やっているから。

就労体験に興味があったため。

仕事をしっかりと身につけるため。

企業で働くために必要なスキルを知るためや企業においてどのような職種があるのか学ぶために参加した。

支援者さんから声をかけていただいたことと、色々な仕事を知りたいと思ったからです。

案内された。

基礎を高める。

就職につく前の準備段階として少しでも経験を積んでおきたいと思ったからです。

きれいにバスケットボールの会場をしたいと思ったから。

久しぶりにやりたかった（何年か前に参加したことがある）。

前回参加して楽しかったので、また参加しました。

久しぶりにやりたかった。

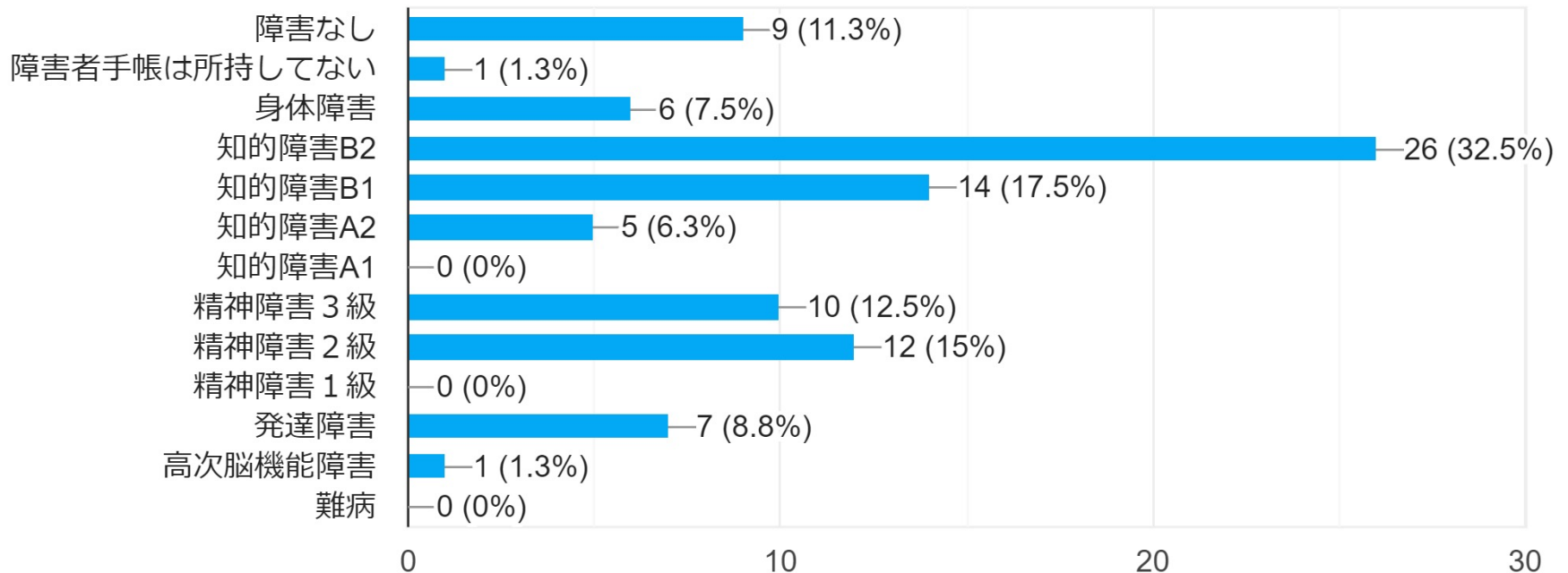
アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< 障害属性 >

- 身体・知的・精神・発達の全障害属性の方々がプログラムへ参加
- 身体・発達が約2割、知的が約5割、精神が約3割
- 障害なしと答えた方は約1割で、ひきこもりや、手帳を保有しない方々も参加

※昨年より身体・発達が1割増、精神が1割増、障害なしが1割減



アンケート調査・検証結果①

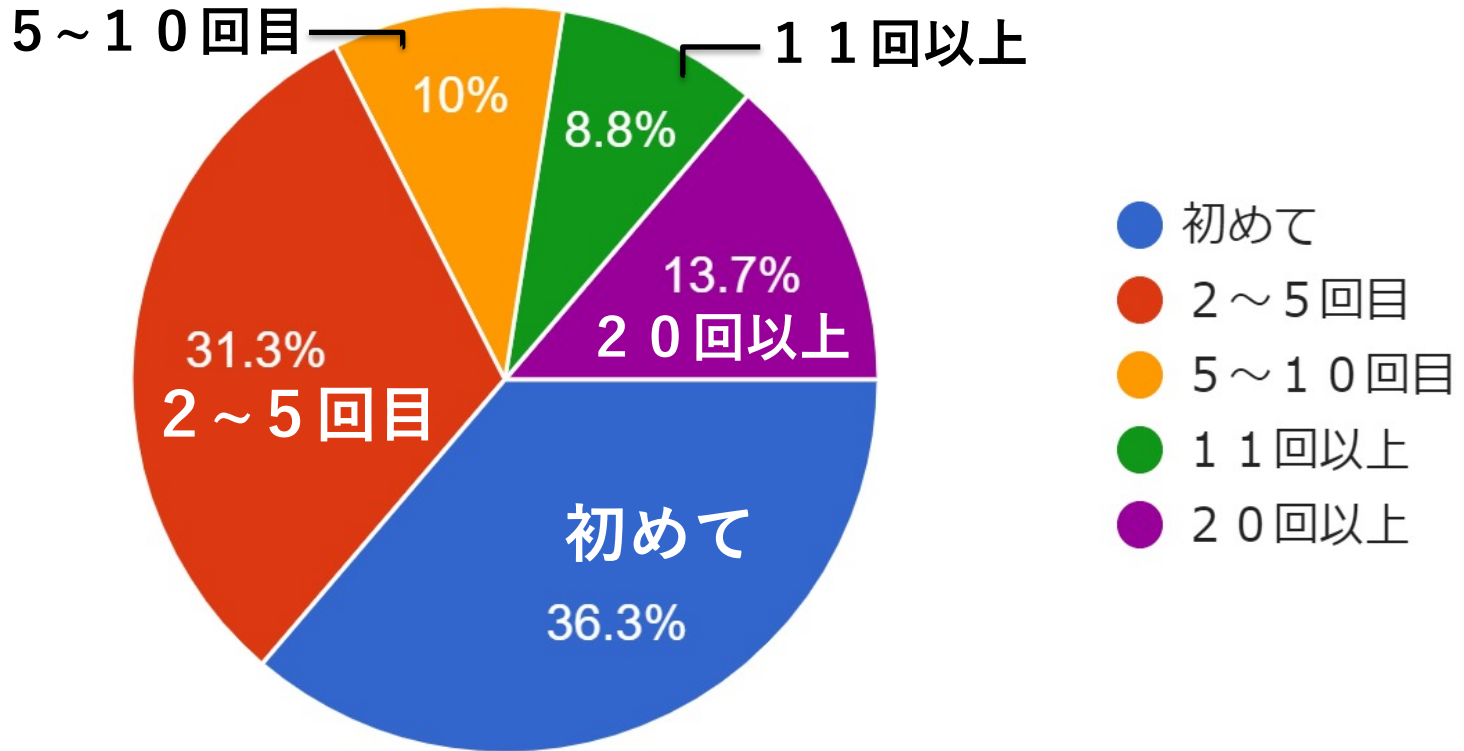
就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< 参加回数 >

- 複数回参加している方が約7割（実践事業の対象期間以前からプログラムを実施している）
- 2～5回目の参加者が多いことから、昨年初めて参加された方が継続して参加していることがわかる
- 10回以上参加している方も2割おり、

前項の回答からもプログラム内容にやりがいを感じている方が多いことがわかる

※昨年より初参加の方が約1割減、2～5回目の方が1割増

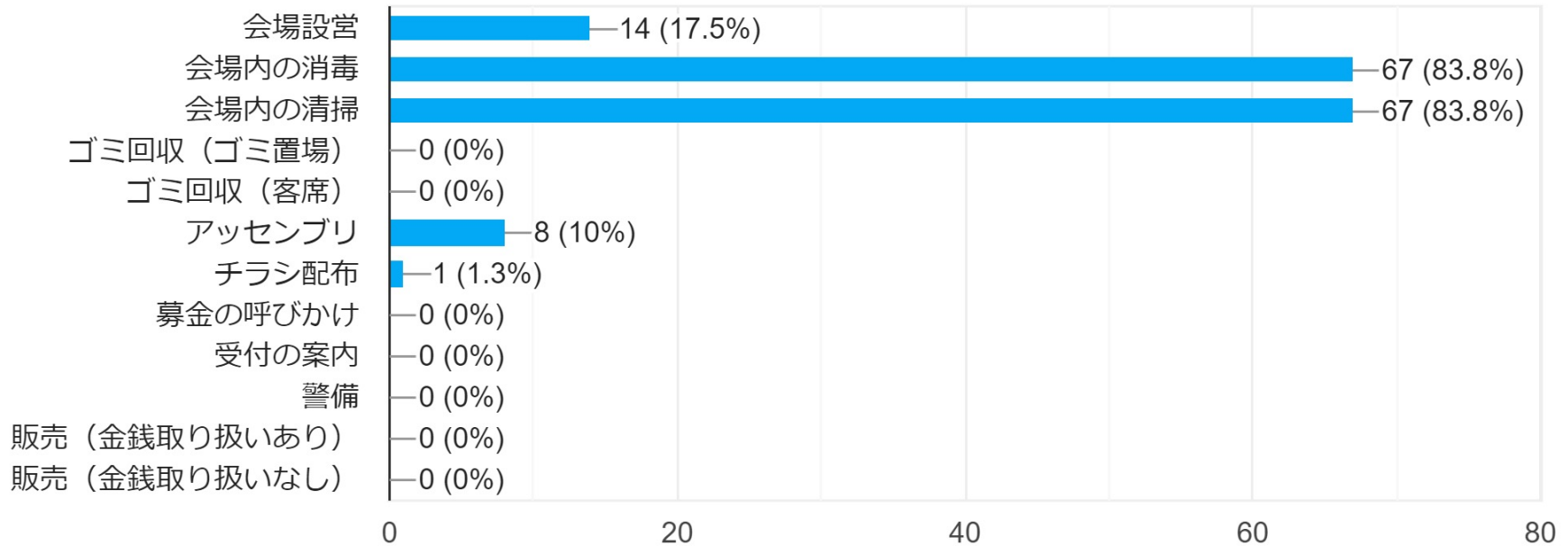


アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< 体験したプログラム（仕事）の種別 >

- プログラム（仕事）の種類は10種類以上を用意
 - 新型コロナウイルス感染症対策として、不特定多数の方と接する機会の少ない会場の設営サポートや会場内の消毒、清掃などがメインになっている
- ※コロナ禍が長引いていることによりゴミ回収やチラシ配布、受付などのプログラムを体験する機会が減少している



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：77名）

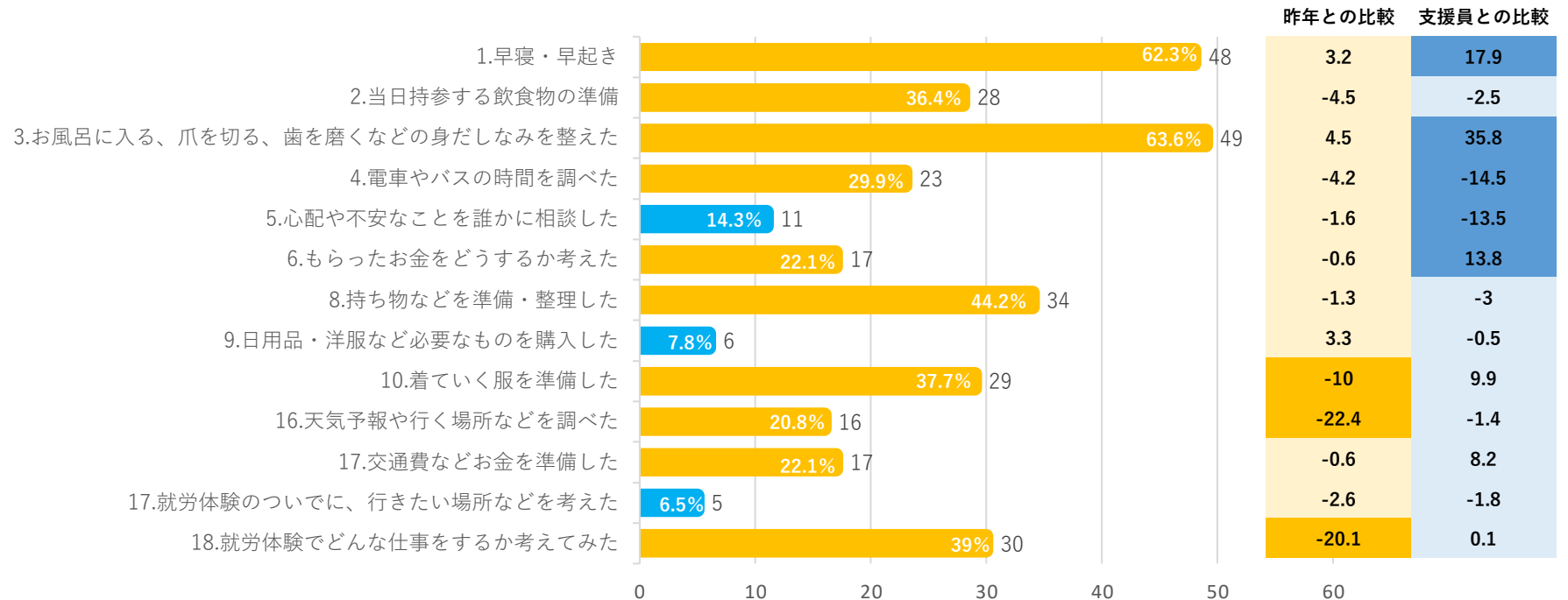
< プログラム参加前に気をつけたこと >

■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア）
- ・自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理）
- ・社会参加する（モジュール18.働く）

■ 事前には、早寝早起・準備・身だしなみを整えるなど「生活の基礎をつくる」「自分の生活をつくる」部分、想像して考えるなど「社会参加する」部分における学びがあったことがわかった

※ 昨年と比較するとコロナ禍が長引くことにより、実際に外出することに必要な項目に対する意識が低くなっていることが考えられる
 ※ 昨年と比較すると「モジュール16.情報」、「モジュール18.働く」に対する関心が減っている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：78名）

< プログラム参加当日に気をつけたこと >

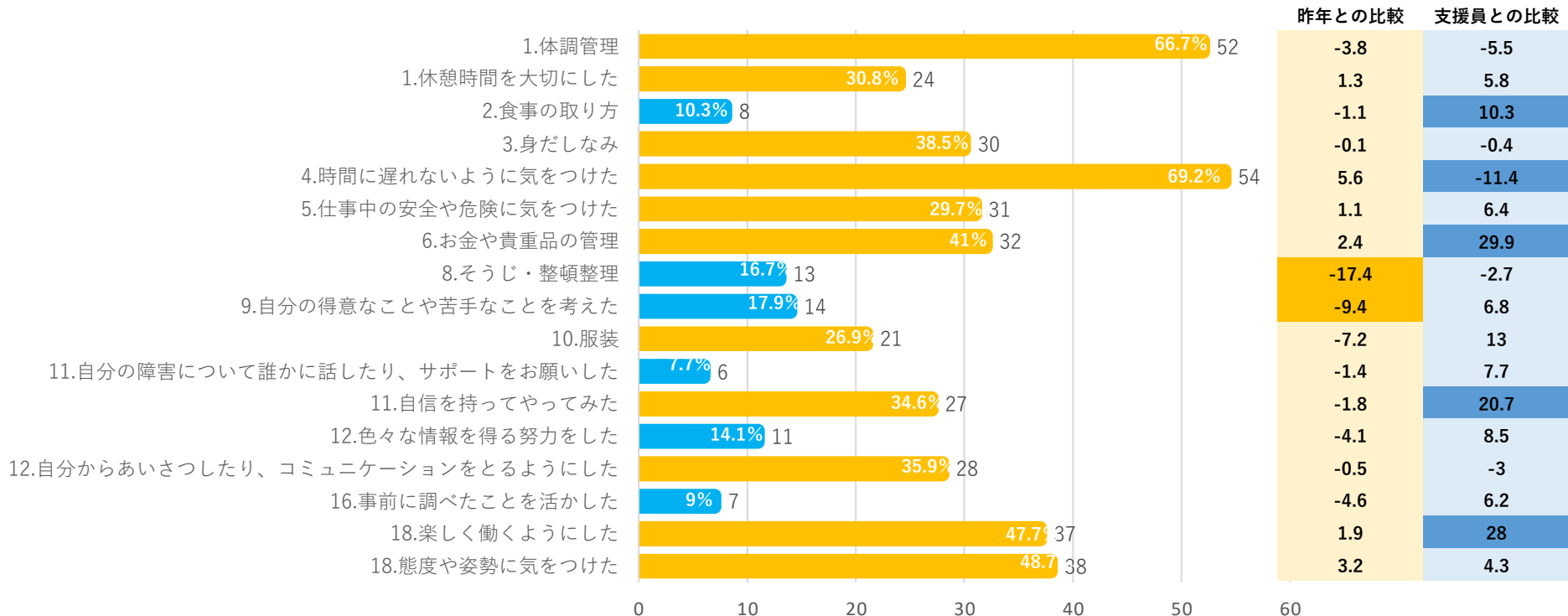
■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール4.時間管理、モジュール5.安全・危機管理）
- ・社会参加する（モジュール18.働く）

■ 当日は、体調管理・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、

楽しく働く・態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における学びがあった

※ 昨年と比較すると「モジュール8.そうじ・整理」に対する関心が減っている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：73名）

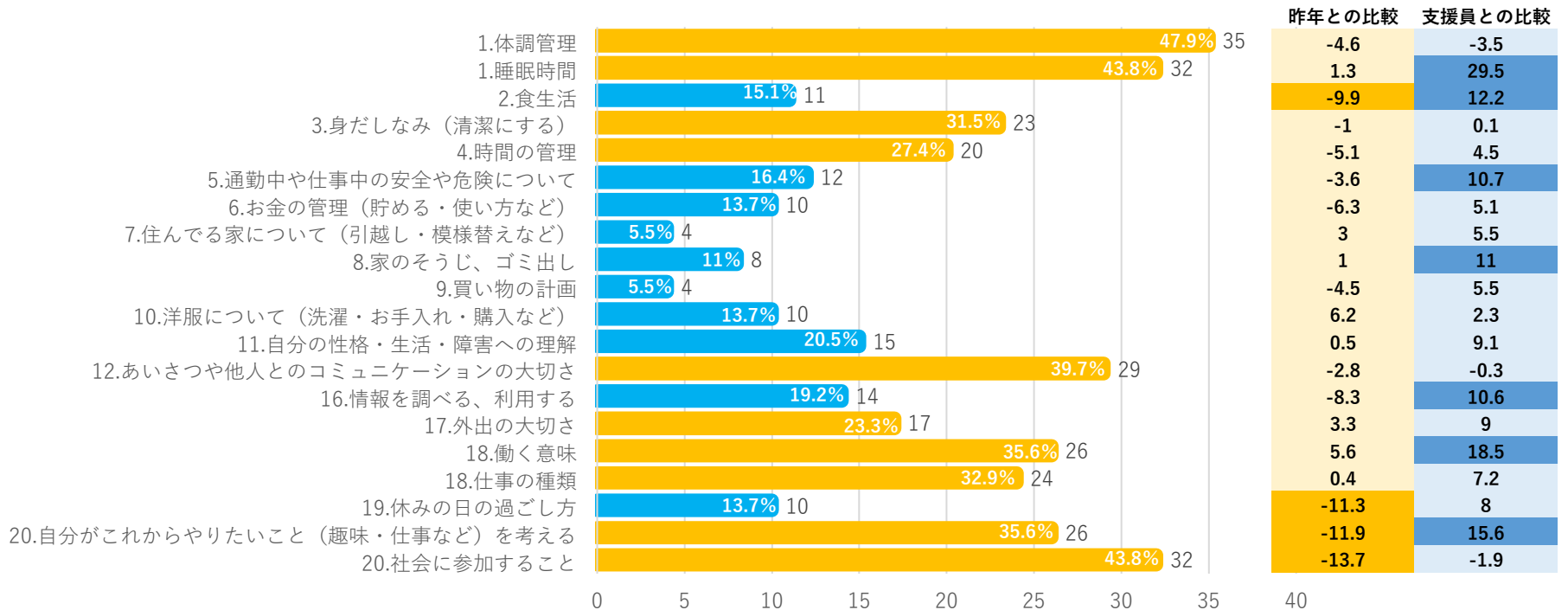
< プログラム参加後に気をつけたこと >

■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理）
- ・自分らしく生きる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
- ・社会参加する（モジュール20.社会参加）

■ 参加後は、体調・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、コミュニケーションなどの「自分らしく生きる」部分、社会に参加することを考える「社会参加する」部分における学びがあったことがわかった

- ※ プログラム参加後は「自分らしく生きる」ことについての学び（気づき）が大きい
- ※ 昨年は「モジュール19.余暇」、「モジュール20.社会参加」への関心が減っている



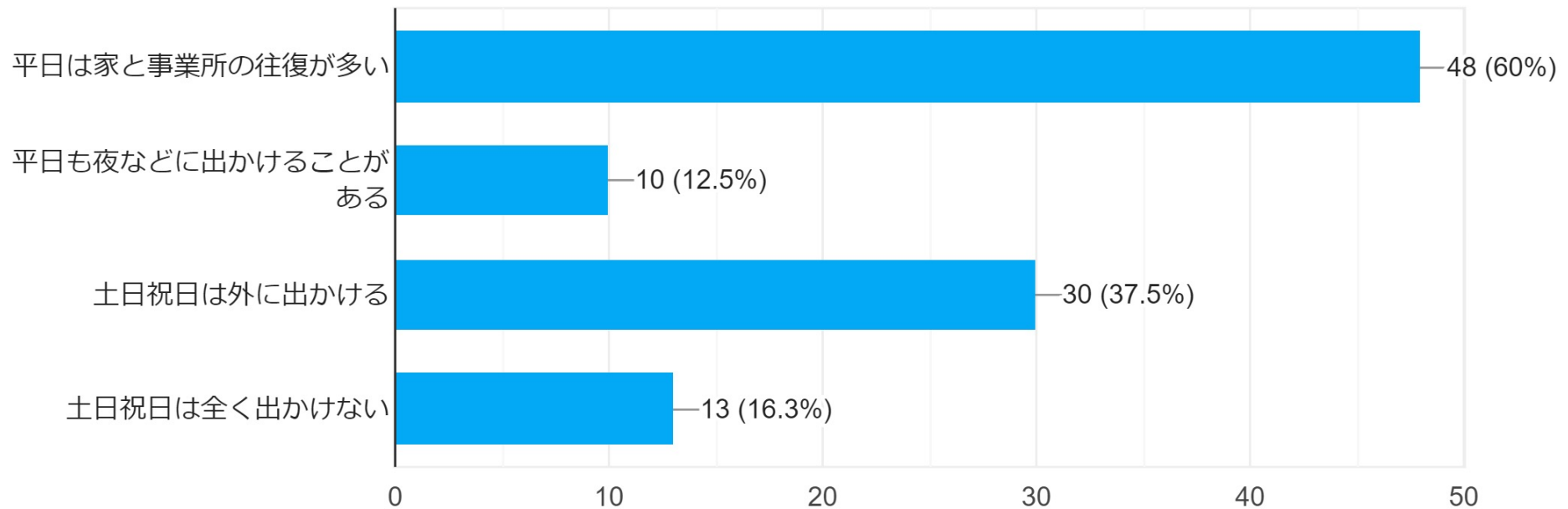
※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< 普段の生活について >

- 平日は家と事業所の往復が多いという方が約6割
- 休日に出かける方は4割



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< プログラムに参加して学んだこと（自由記述で63名の回答） >

- 単純作業は集中力を生み出すことにもつながっている
また、プログラムを通して自分自身や仕事の仕方に向き合っている方が多い
- 普段と違う環境下で、普段は接する機会がない方々と接することで、
他者や社会のことを考える想像力が育まれている
- 自分の生活に密着していること（消毒作業など）を仕事として行うことで、
目の前にいない相手のことも思いやる気持ちが生まれている

ある程度、失敗しても何とかなるんだと感じました。

社会と接する必要性。

与えられた仕事を一生懸命する。

仕事の雰囲気慣れるのに大変でした。早く慣れるようにする。

暗いところもゆっくりだったらできると思いました。

レベル違った。

いい体験になりました。

あいさつの大切さ。

詰めすぎない、程よい力でやる。

時間の過ごし方。

楽しく働くこと。

簡単な作業でも人のためになつてると思えるようになった。

あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さ。

接客はなかったが、接客する前準備も必要な事が分かった。

仕事の辛さと達成感。サポートのありがたさ。

サッカーがより好きになった。

力を合わせて仕事すること。

1つの試合を開催するのにたくさんの人の力が必要なのだなと思い、この体験の中で、自分もその一員になれて嬉しい。

頑張ることを学びました。

どんな仕事でも積極的に集中を学びました。

頑張ること。

外出の必要性。

カメラがあるときは来ない。

社会に参加することを学びました。

おもしろかった。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

椅子拭き。

身だしなみ。

暗いところもゆっくり歩けると思った。

積極的に自分から報告ができたことが勉強になりました。

良い経験になりました。カード取り出す仕事。

カードを取り出すことが勉強になりました。

真剣に集中できたことが勉強になりました。

あいさつ。

いい経験になりました。

あいさつをしっかりすることを学んだ。

自分から進んで拭いた。

あいさつされて、あいさつしたことが楽しかった。

教えられたことを活かしたい。

相手に伝わるように説明をするのは難しい。

地道な活動を行うときの集中力の長さがわかりました。

たくさんのスタッフの方に支えられて試合が成り立っていることがわかり勉強になりました。

自分に合っている仕事のスタイルがよく分かった。もっと清掃作業したかった。コミュニケーションはやはり無理だなと感じた。

チーム4名で一丸となって、協力し合って作業を分担することができた。

一人ではできなかつたと感じた。

まだまだ体力がないと思った。

臨機応変が求められる場は楽しいけど向いてない。

丁寧に仕事する。

今後につなげたい。

社会ではたくさんの人が協力をして成り立っているということ。

言葉遣いが大切であること。

宏場所での作業でどのくらい疲れるのか、自分に出来ることなのかを考えるきっかけとなった。

言いたいことがあるなら言う。

こんな拭き方とか考えるようになった。

食事することを思い知る。

仕事場の雰囲気が味わえた。

掃除の技術と作業時間を知った。

人とのコミュニケーションや困ったことを放置せず、周りの人にすぐに相談をする大切さを学ぶことができた。また、できるだけミスをせず、丁寧に任せられた仕事を行うことの大切さも学ぶことができた。

ほぼ初対面の15人位でチームを組んでもサッサと終わったことに驚きました。受入側の方が優しく喜んでくださっていたことは嬉しかったです。

掃除機のかけ方（掃除機を引いた時の方がゴミを吸引することを学んだ）。

数を重ねれば速さ丁寧さなども意識してできるようになってきました。自分からあいさつや話を聞くことを学びました。

コロコロで玄関をきれいにし、みんなが入口から入場する際に、きれいな玄関で良いなと思ってくれるところ。

日頃、清掃活動へ参加しているため、イスの拭き方も勉強になりました。スプレーでちゃんとイスを拭いたこと。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< プログラムに参加して、自分の中で変わったこと、気づいたこと（自由記述で56名の回答） >

- 体調管理、コミュニケーション、外に出る、働くことの大切さに気がついた方が多い
- いつもと違うことにチャレンジすること、責任感を持って仕事に取り組むことで、自己肯定感につながっていると考えられる
- プログラムに継続して参加することで、自分なりのコミュニケーションの取り方を模索する機会となっている
- 「気がつく」「考える」機会となり、能動的な学びや社会参加に向けた具体的な行動に結びついていることがわかった

ある程度、失敗しても何とかなるんだと感じました。

楽しかった。

1人で帰れた。

アリーナの中の階段もゆっくりなら降りることができてこれからも頑張れそうです。

ものすごく頑張った。

就労への意識。

イス、机など消毒して楽しいと思った。

体力配分。

就労体験に参加する抵抗感は減ってきた。

自分からあいさつするようになった。

体験を通して、やりたいことややりたい自分が見えてきました。

少しずつ社会になじんできたように思います。

しばらく筋肉痛が続いた。

より仕事に興味が出た。

あまり食事をしなかったせいか、体が疲れすぎる。

時間を守ること。

短い時間でしたが、ぬけが少しありました。

コミュニケーションを大切にする。

前よりはコミュニケーションを取れるようになった。

体調管理に気をつけるようになった。

屋外の作業でしたが疲れを感じることはあまりなく、スムーズに作業できました。

あわてないように動くように考えるようになった。

体が痛くても止まらず、前のめりになってしまう部分があって、休憩しながら作業するのが難しいようです。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

認められて自分の中では頑張ったつもりです。

仕事が楽しかった。

対応できたこと。

少しずつ自分のやりたいことや未来が見えてくるようになった。

できる仕事の種類が増えた。

働くことは楽しいと思った。短い時間や内容もあるけれど、とにかく労働の意味をよく考えるようになった。

今回の実習で最初はイスなどの消毒を丁寧に行うことができても体の疲れが出てくると作業が雑になってくるので、疲れが出てくる前に休憩などを取ることで体を休ませることも仕事を行う上で大事だと気づきになった。

流れ作業などが得意な作業だということ。

最後まで頑張りました。

早寝早起きができるようになった。

積極的に黙々と頑張りがすぎたことが気づきました。

以前は対人恐怖症だったが、今はほとんど良くなり、初対面の方とも会話ができるようになっていくことに改めて気づかされた。

久しぶりに働けてよかったと思います。

体力面が強くなった。

話すことの大切さ。生きること。働く楽しさ。

今までの人生を大切に。

単純作業は毎日はずらいかもしれません。

仕事に力を入れた。

自分は少ししゃべりすぎなので黙っていることを覚えようと思った。

色々な作業ができること。

足元を気をつけた。

外で働くことの気持ちの良さ、働くことの楽しさを思い出し、就活に積極的に取り組みたい。

人のかかわり方、苦手な人のコミュニケーション。

楽しくできたこと。

朝早く起きるのに大変だったこと。

同じ作業でも最初のとくと3回目で大いぶ思うことが変わりました。

最後まで頑張れたこと。

自分が動いたことで役に立てるのはやっぱり嬉しい。

自分で時間を守ろうとするのが気づきました。

他人と接すると少し疲れた。

張り切ってやったことです。紙をカードにいれたりする作業。

カードを取り出すとき厚紙を使ってよかったです。

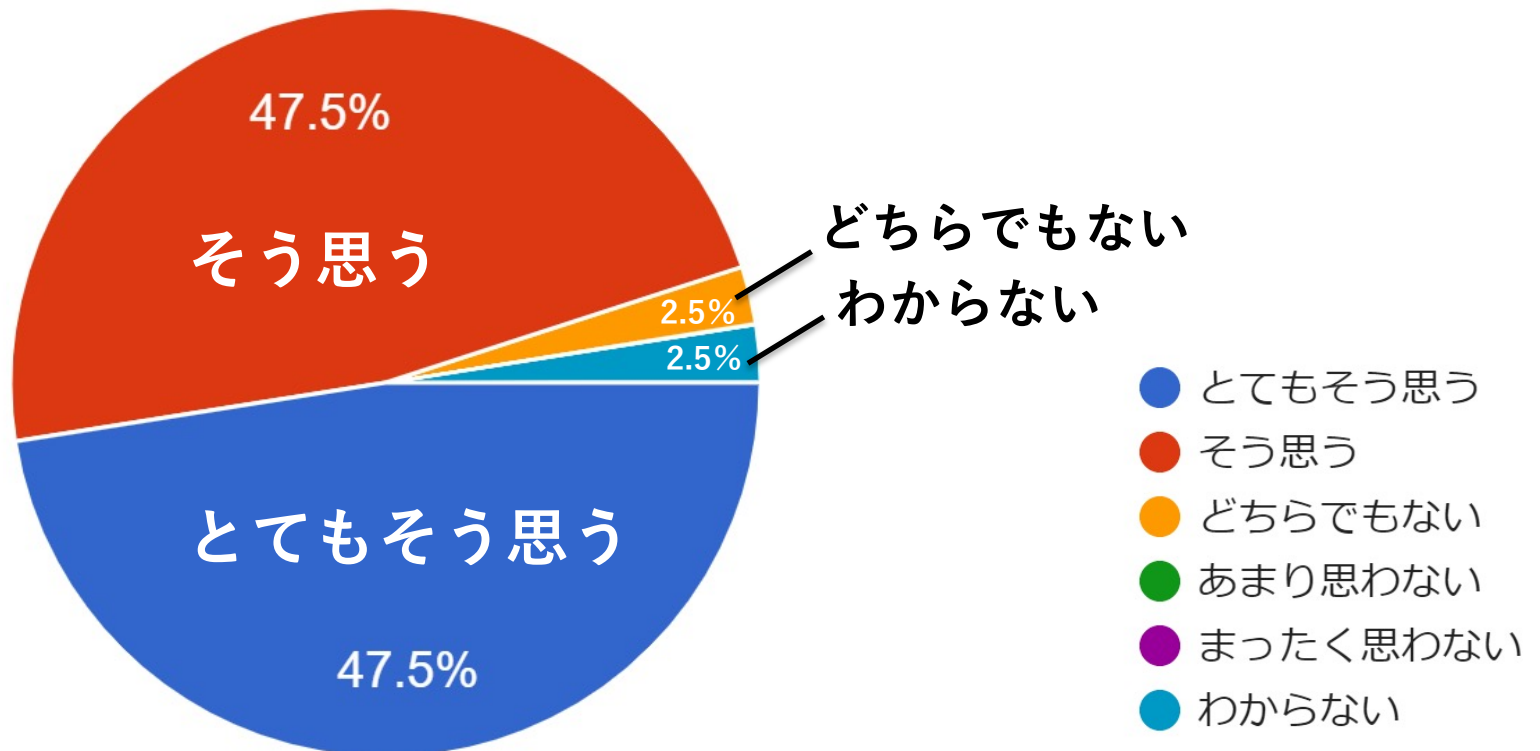
職種についてもっと視野を広げて考えても良いかと思うようになった。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< プログラムを通じて学んだことはこれからの生活や社会に出るときに役立つと思うか >

- そう思うという方が9割
- どちらでもない・わからないという方が1割未満
- プログラムに参加することで、多くの方が学びや気づきを得ている



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所 参加者様のアンケート結果（有効回答数：80名）

< 全項目の理由、その他感想など（自由記述で44名からの回答） >

- プログラムの内容（仕事）が大変だったが、楽しかった・また参加したいと答えた方が多い
- 「〇〇したい」という、ポジティブなモチベーションへと繋がっていることがわかる
- プログラムを通じて得られる非日常的な体験をして、様々な角度から社会に参加すること、人と関わることについて考える機会となっている

貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

ありがとうございます。

またやりたいと思います。

初めてテレビに映ることに喜んだ。

楽しかった。

楽しみながら仕事できたことが嬉しかった。

ありがとうございます。またやりたいです。

今日はありがとうございました。

今回もありがとうございました。

貴重な経験をさせてもらい光栄です。

みなさんとコミュニケーション取れるように早く慣れるようにする。

社会に出るうえでコミュニケーションは必要だと感じるから。

社会に出るために最低限必要なことを学べると思うから。

今後も機会があれば参加させていただきたいです。

今回もありがとうございました。

毎日出張があったら一人で毎日出張したいです。

次の経験を積みたい。

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

また参加したいです。

様々な経験を重ねていくことは大切だと思っているからです。

先日の就労体験（他一区間の座席の消毒業務）以外にもパソコンを使用した事務関連の体験実習があれば参加したい。また、先日の就労体験で行った作業とちょっと異なった軽作業をやってみたいと思う。

また、あればやりたいです。

また頑張ります。

どんどん社会に出て認められる男になりたいです。

普段入ることのできない競技場やファミリー席に入ることができて、いい思い出になりました。

また、今年もあればやりたいです。

一日無事に終えることができてよかったです。

ありがとうございました。

きつかったですが、チームでやることの大切さ。

前向きに働くことができれば。

仕事の状況が分かった。

就職への一步。

別の作業も色々やりたい。

楽しめました。また参加したいです。

スタッフの方の気遣いが素晴らしかった。

またやりたいです。

できれば、チラシをまとめる作業をしたかった。

どんな仕事か待っているかどンドン挑戦したいと思いました。

機会があればまた体験してみたい。

自分が自信を持てたことです。

また、参加できればやりたいです。

丁寧に指示をしていただけて、分かりやすかったです。ありがとうございました。

また参加させていただきます。

アンケート調査・検証結果②

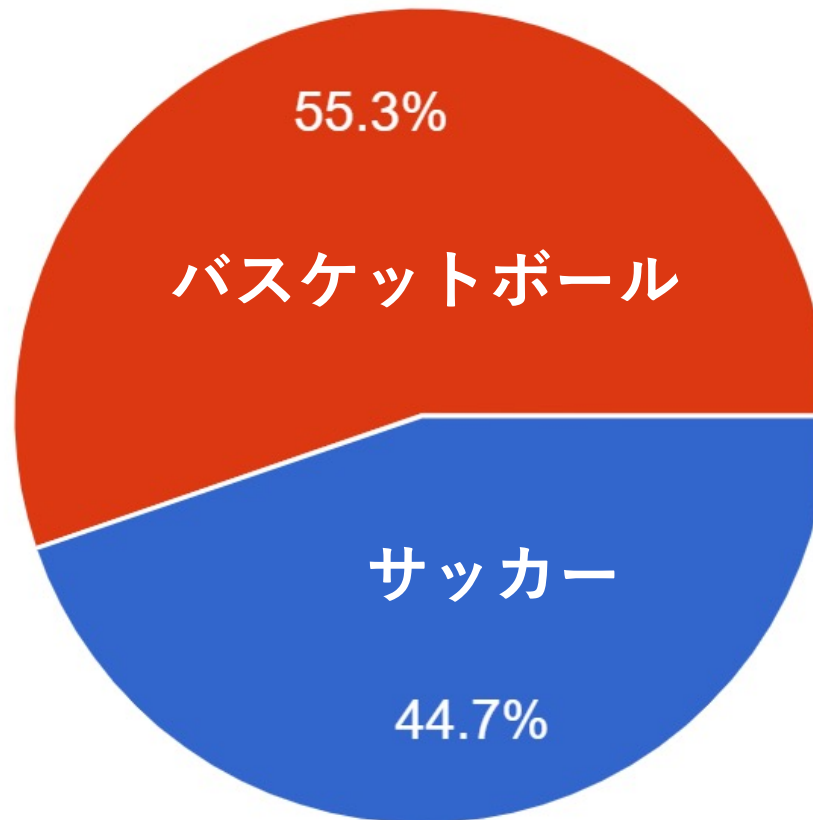
プログラムに同行・見学参加した川崎市内の福祉事業所
支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

アンケート調査・検証結果①

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

< 体験プログラム >

- バasketボールの参加者が6割、サッカーの参加者が4割
- 参加比率は実施プログラム数と比例している



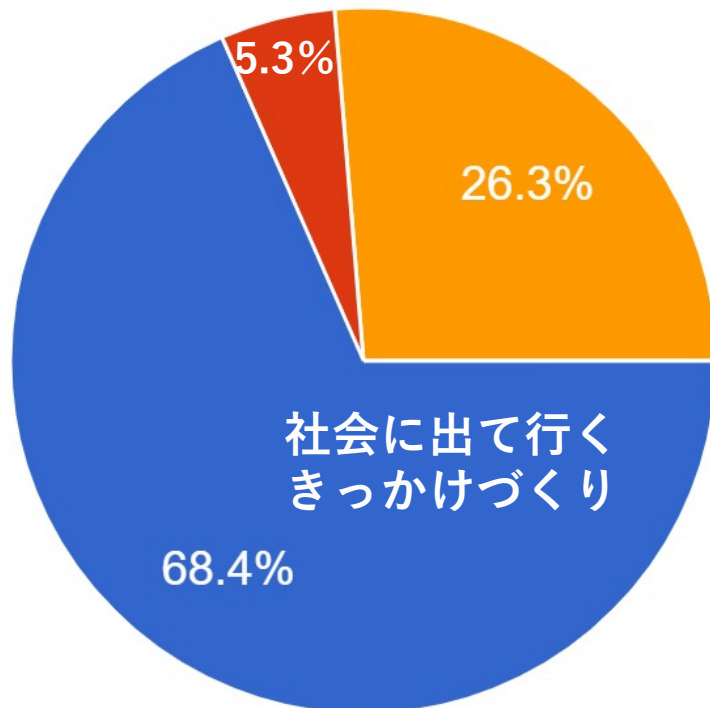
アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

< 参加した利用者様の状態 >

- 「社会にでていくきっかけづくり」という、社会参加の第1歩目の状態の方が約7割を占める
- 当プログラムを社会参加や外出の機会として活用していることがわかる

※昨年より「社会に出て行くきっかけづくり」と回答した方が1割増



- 社会に出て行くきっかけを作っているところ
- 企業就労に向けて事業所に通い始めたところ
- 企業就労を具体的に目指して活動しているところ

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：34名）

< プログラムに参加した理由・目的（自由記述で34名の回答） >

- 働くこと・他者と関わること・社会というものを学ぶ場として活用されている
- アセスメントや利用者様の強みを見つける場としても活用されている
- 支援者様のご意見から、特別支援学校卒業後から一般就労までの間に溝があり、事業所内でも社会経験を積むような機会を創出できていないことが推測される

社会へ出る経験のため。

利用者に就労体験をすることで職業に対する視野を広げてもらうため。

本人の自立的な気持ちの尊重。

就労希望されている方に就労経験や体験をひとつでも取り組んでいただきたかったからです。

社会交流を行う機会を作るため。

年齢に問わず、社会（就労体験）参加となれば良いと思います。また、就労を目指している方にとっては働くことへのイメージが膨らむと思います。

人とのコミュニケーションの仕方を見るため、また就労体験を通して就職へのきっかけづくりのため。

事業所以外の清掃作業を色々体験してもらうため。

事業所内ではできる作業に限られてしまっているため。

外での仕事を体験するため。

就労の経験のため。

就労経験がない、事業所通所者、就労のブランクがある在宅の方。

アセスメントのため（体力・対人スキル）。

アセスメントとして。本人の適性確認。

就労準備の一步目ということ。

社会への参加。

本人の参加意思を尊重。

2名とも就労したい気持ちが語られるようになったため。

事務作業は事業所内で行っていますが、参加者がどれだけ、どのくらい作業として意識できるのか確認をしたかったからです。

外部での仕事の経験のため。

事業所外での活動を通じて、体力や指示理解など、自身の状況を知ってもらうためです。

就労に向けての経験をするため。

社会との関わり、就活に向けての生活リズムや体力づくり。

様々なお仕事に参加して、自分ができる仕事を見つけてほしい。また、他の体験者と協力してお仕事ができるかどうか。

事業所内の作業ではなく、外の作業を経験し、自信をつくようにしてほしい。

外部での仕事。

この就労体験がご本人たちにとって貴重な社会参加の機会となっており、継続的な参加の場となっているため。

作業指示への理解力。

就労を目指している方や様々な就労体験を通して、利用者の強みを活かしていきたいと思いました。

社会経験のため。

本人より希望があったため。

就労のイメージを膨らますため。自信をつけるため。

就労経験はあるが、1人で公共交通機関に乗ったことがほとんどないため、今後の通勤を見据えての練習。他人と協力しながら働く経験を増やすため。

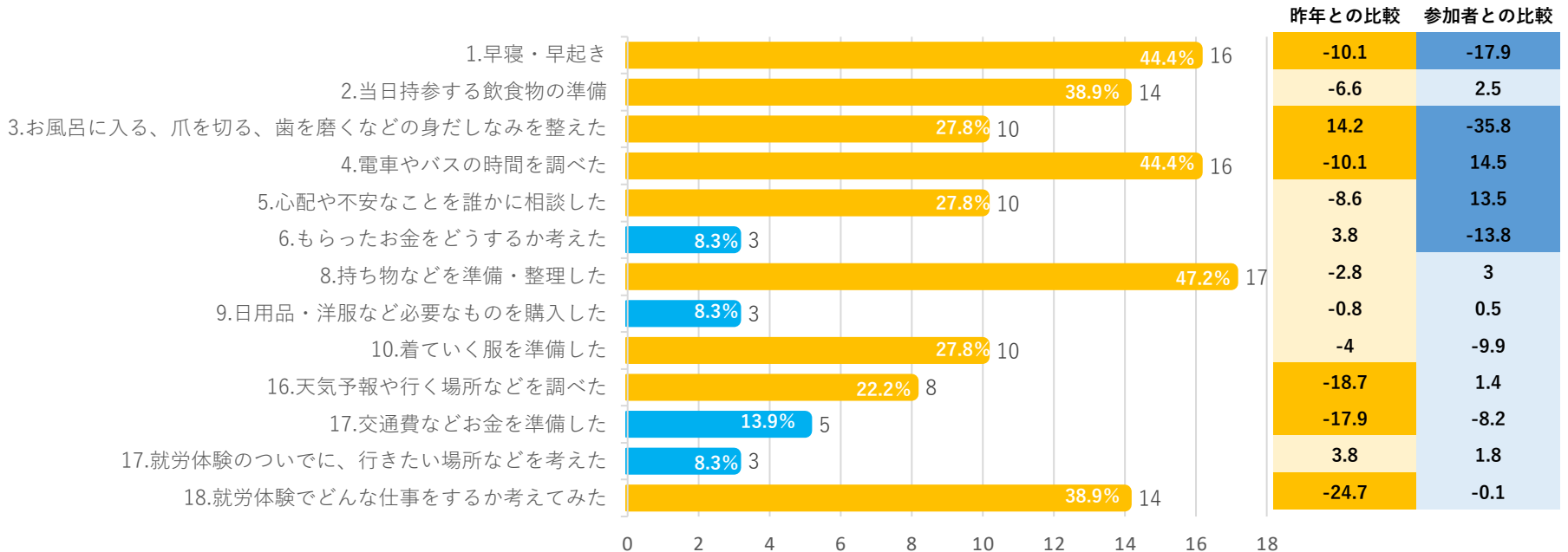
アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：36名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加前に気をつけていたこと >

- 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・ 生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール4.時間管理）
 - ・ 自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理）
- 事前には、早寝早起・時間管理など「生活の基礎をつくる」部分、持ち物や洋服の準備など「自分の生活をつくる」部分における学びがあることがわかった
- 「生活の基礎をつくる」部分において、参加者アンケートとは異なる結果が見られた

※昨年と比較すると「モジュール16.情報」、「モジュール18.働く」への関心が低くなっている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：36名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加当日に気をつけていたこと >

■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理）
- ・自分らしく生きる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
- ・社会参加する（モジュール18.働く）

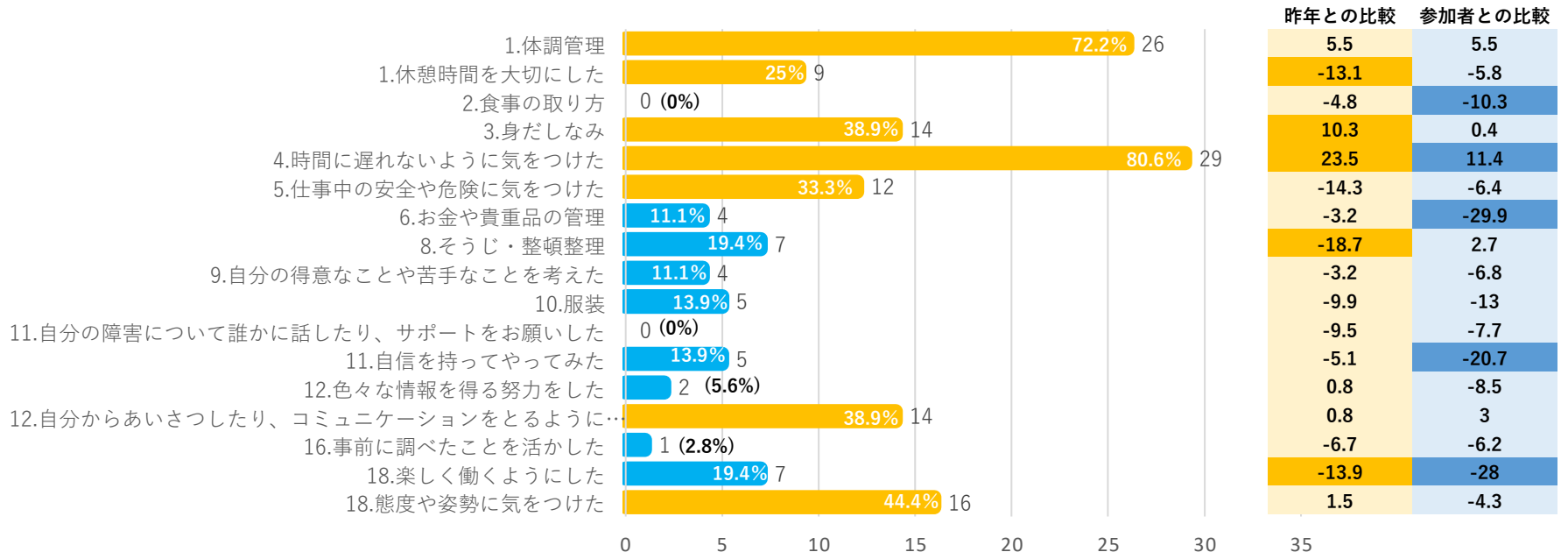
■ 当日は、体調管理・身だしなみ・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、コミュニケーションなどの「自分らしく生きる」部分、態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における学びがあることがわかった

■ 多くの項目において、参加者アンケートとは異なる結果が見られた（参加者の方がポイントが高い）

※ 昨年と比較すると時間管理に関して差がみられる

※ 参加者アンケートと比較すると支援者様は「プログラムに真剣に取り組んでいる」という印象を持たれていることが推測できる

※ 昨年と比較すると「モジュール4.時間管理」、「モジュール8. そうじ・整理」への関心が低くなっている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：35名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加後に気をつけていたこと >

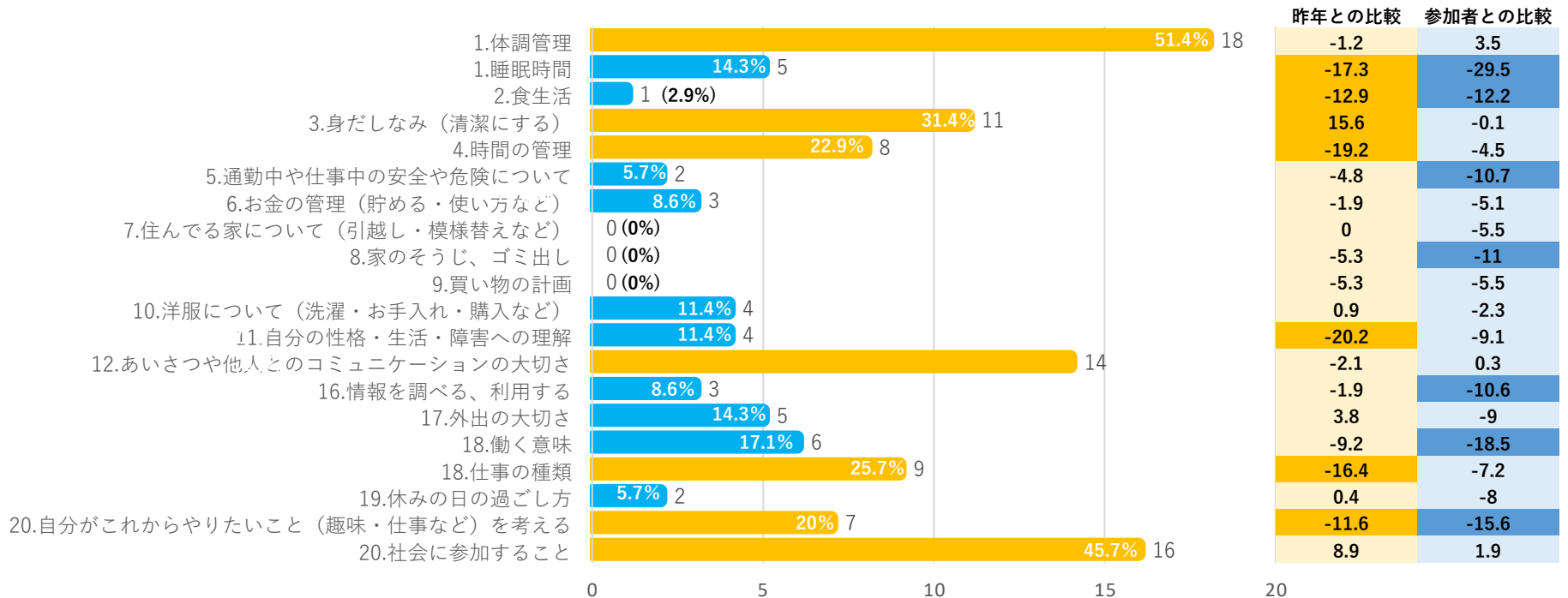
■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理）
- ・自分らしく生きる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
- ・社会参加する（モジュール20.社会参加）

■ 参加後は、体調管理などの「生活の基礎をつくる」部分、 コミュニケーションなどの「自分らしく生きる」の部分、社会に参加することなどの「社会参加する」部分における学びがあったことがわかった

■ 多くの項目において、参加者アンケートと異なる結果が見られた

※ 昨年と比較すると全ての支援者様の結果において「3.セルフケア」がポイントアップしていることから「他者からどう見られるか」についての意識が高くなったと考えられる



※ 番号は「社会生活プログラム」のモジュールに沿った番号

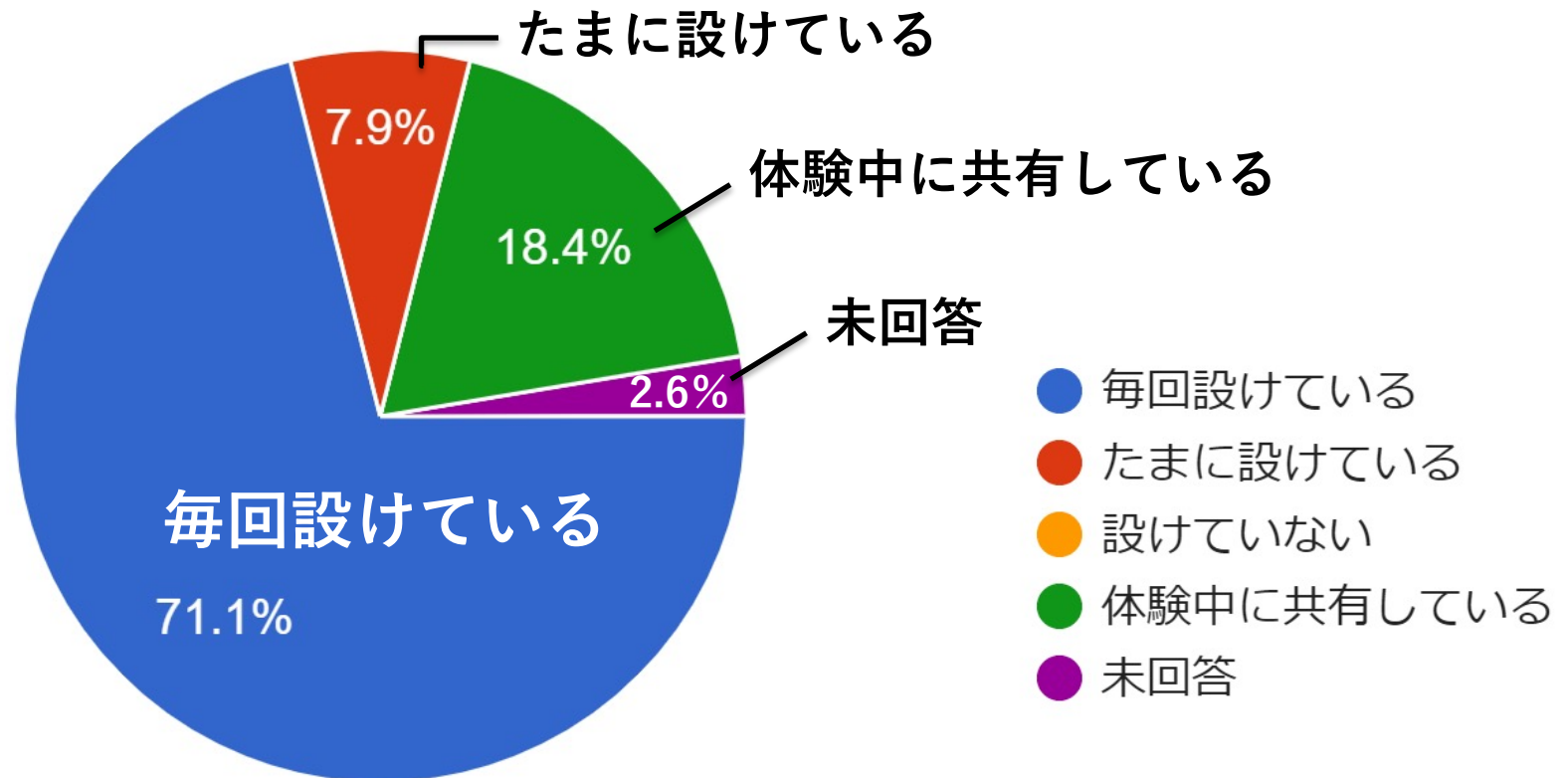
アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

< プログラム終了後に利用者様と振り返りの場や、感想や思いなどを共有する場を設けているか >

■ 毎回設けている方が7割

■ 利用者様に合わせて、様々な形で感想や思いを共有していることがわかった



アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

< プログラムに参加して、利用者様が学んだこと（自由記述で38名の回答） >

- 社会に出ること、働くこと、チームワーク、協調性、コミュニケーションに関する学びがあった
- 普段接しない人と関わることが刺激になり、利用者様の新しい強みの発見や、能力の向上につながっている
- プログラム中に与えられた目標をやり遂げることで「達成感」を得ることができ、それが利用者様の自信や満足度につながっている
- 支援者様から見ても、働くという経験を通じて多くの人と関わるこのプログラムが、様々な学びを生んでいることがわかる

久しぶりの就労体験だったが、慣れた様子で作業できており、自信になったのではないかと考える。

作業能力と指示理解。体力のコントロール。

他の人と一緒に作業する。

いつもとは違う環境での仕事のため、良い経験を積むことができました。普段とは違う人たちとコミュニケーションを取れるいい経験ができました。

清掃に限らず、色々な仕事ができること。

具体的に社会と接し、日常出会わない人にあたり、その人たちから支持をもらったり、報酬も得たりすることで、社会を単発で垣間見られる学びになったと思う。

今の自分の体力（心と体）を知るきっかけになったと思います。

他人と声をかけあって仕事をする事の大切さ。

仕事をする充実感を体験することができたと思う。

他体験者への接し方や、自身への障害を受け入れるきっかけになればと思います。

周りとのコミュニケーションの取り方。助け合いながら作業をできていたこと。

参加したことで就労に対して自信が持て、前向きに検討する様子が見られるようになりました。

他者と協力して作業に取り組むこと。

自ら進んで作業をすることができていた。

2人の利用者が参加しました。1人は事業所内で細かい事務作業をしていた効果を発揮し、終始集中して取り組んでいました。もう1人は手順通りに行くことを課題として、今後活かしていきます。

施設内での作業より作業ベースが速くなった利用者の方がいた。他事業所の利用者の方々も参加されており、刺激を受けたか。

噴霧器を2名の利用者で交互に使って作業したりする中で、他者と協力して作業することの難しさを多少感じたりも思ったのではないかと思います。

通所先とは違う社会の中でのルールを知る、知らない人とのコミュニケーションを取ることを学べたと思います。

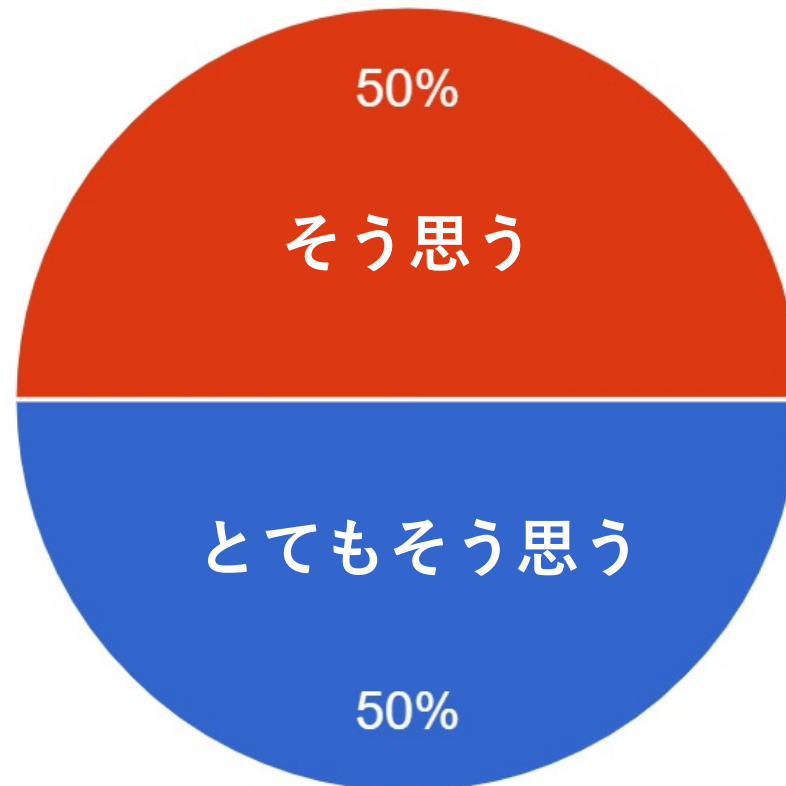
他者との交流を通じて社会性を身につける。

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

＜プログラムを通じて利用者様が学んだことはこれからの生活や社会に出るときに
役立つと思うか＞

- そう思うという方が10割
- プログラムに参加することが多くの利用者様の学びや気づきにつながっている



アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行・見学参加した福祉事業所 支援員様のアンケート結果（有効回答数：38名）

< 前項目の理由、その他、感想等（自由記述で29名の回答） >

- 当プログラムへの評価や期待が高い
- 支援者様側からはアセスメントの場として有用な機会であることがわかる
- プログラム終了後、事業所でも利用者様と感想や想いを共有できるきっかけになっている
- コロナ禍が長引き、運営体制を模索する中で、プログラム運営の細かい部分についてのご提案を多くいただき、支援員様とともに次年度の更なるプログラム内容の向上につなげていく

いつも貴重な経験の場をありがとうございます。

当センターにおいて、就労体験への参加を希望する人も増えてきており、1回あたりの参加人数制限が緩和されればと思います。今回もお世話になりました。またよろしく願います。

2時間30分で1000円ではなく、3時間2000円の方が参加者が増えると思います。

いつも良い経験の場をありがとうございます。

今回は増員もさせてくださりありがとうございました。今後もよろしく願います。

またよろしく願います。

貴重な機会を提供していただきありがとうございました。また機会がありましたら、よろしく願います。

これからも継続的に参加させていただけるとありがたいです。今回の噴霧器のように少し新しい作業をさせてもらえると本人たちにも良い刺激になるように思いました。今回もどうもありがとうございました。

貴重な機会をいただきありがとうございました。

今回はいつもと違う雰囲気の中で新たな経験をありがとうございました。今後もよろしく願います。

清掃や事務仕事経験等、色々トライさせていただき、いつもありがとうございます。

今回、初めての作業となりましたが、参加者の方々にとっては良い経験となりました。

様々なお仕事を体験したいと考えてます。本日もありがとうございました。施設に戻ってからも達成感を味わっておいりました。参加者は認められたことが嬉しかったとコメントをいただきました。

今回もありがとうございました。

就労のイメージ作りに助かっています。今後ともよろしく願います。

写真が苦手の利用者様もいるので、撮影の際は配慮していただくと助かります。

今回の体験はご利用者様にとってはすごく負担に感じてしまうように思える。できれば「就労体験」のグループだけで作業できるスペースがあればよかったと思う。

ご本人が体験終了後に「参加してよかったです」と明るい声で話されていました。とても良い体験になった様子でした。

ありがとうございました。

今回も就労体験の場を提供してくださりありがとうございます。協力して仕事をしていくことの楽しさを感じたと思います。

就労体験に参加させていただきありがとうございました。1月の就労体験にも応募させていただきました。よろしく願います。

与えられた仕事に積極的に挑戦していた。B1の方だがちょうちょ結びがキレイにできていた。

それぞれの利用者様にとって学びの多い実習になりました。ありがとうございました。

今回は急な人数変更があり、ご迷惑をおかけしました。また次回よろしく願います。

楽しんで参加することができ、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。

屋外での就労体験の機会にも参加させていただきたいです。今回はどうもありがとうございました。

3時間超で2000円の日当が出せるか、食事提供があるとよりモチベーションにつながると思う。

いつもありがとうございます。今後ともよろしく願います。

今後も様々な就労体験の機会を提供していただければ有難いです。よろしく願います。

アンケート調査・検証結果③

プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所
参加者様のアンケート結果（有効回答数：112名）

< 就労体験プログラム参加者用 >

就労体験アンケート

以下の項目について、アンケートに御協力をお願いします。

質問	答え（該当するところに○をつけてください）
就労体験に参加した日	月 日
(1) 年代を教えてください。	年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代
(2) 一般就労経験の有無を教えてください	A. 企業就労経験：あり（ 年前） なし B. 福祉事業所就労経験：あり なし
(3) あなたの障害の有無について教えてください。障害のある方は○をつけてください。 ※精神障害のある方は、疾患名についても可能な限りお答え願います。	1. 障害なし 2. 障害あり ・障害者手帳は所持していない ・身体障害（ B2 B1 A2 A1 ） ・知的障害（ B2 B1 A2 A1 ） ・精神障害（ 3級 2級 1級 ） →主な疾患名（ ） ・発達障害 高次脳機能障害 難病
(4) 就労体験の参加回数	初めて 2～5回目 5～10回目 11回目以上 20回以上
(5) 今回の満足度とその理由を教えてください。	とても満足 満足 ふつう やや満足 不満 理由（ ）
(6) 今回は、なぜ参加しようと思いましたか？	
(7) 今回は、どんなお仕事をしましたか？	
(8) 就労体験に参加する前日に、気をつけたこと、やってみたことはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を削ぐなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(9) 就労体験当日に、気をつけたこと、やってみたことはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.体調管理 1.休憩時間を大切にした 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事上の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいざつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(10) 就労体験に参加した後に、気をつけるようになったこと、チャレンジしてみたことはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.体調管理 1.休憩時間 2.食生活 3.身だしなみ（清潔にする） 4.時間の管理 5.通勤中や仕事上の安全や危険について 6.お金の管理（貯める、使いなど） 7.住んでいる家について（引越し・模様替えなど） 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買ひ物の計画 10.洋服について（洗濯、お手入れ、購入など） 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいざつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれからやりたいこと（趣味・仕事など）を考える 20.社会に参加すること
(11) 就労体験に参加して、学んだこと、勉強になったことがあれば教えてください。	
(12) 就労体験に参加して、自分の中で変わったこと、気づいたことがあれば教えてください。	
(13) 普段の生活で、当てはまるもの（近いもの）を選んでください。	1.平日は家と事業所の往復が多い 2.平日も夜などに出かけることがある 3.土日祝日は外に出かける 4.土日祝日は全く出かけない
(14) 就労体験で学んだことは、これからの生活や社会に出る際に、役立つと思いますか？	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない 6. わからない
(15) その理由や、その他感想、伝えたいことなどあれば自由にご記入ください	

< 同行した支援員様用 >

アンケート（支援員様用）

アンケートに御協力をお願いします。いただいた内容は、本企画の実践・研究以外には使用いたしません。利用者さん個々で異なると思いますが、全体を通しての御意見で御回答をいただければと存じます。

質問	答え（該当するところに○をつけてください）
就労体験に参加した日	月 日
(1) 今回、参加された支援をしている方（利用者さん）の主な状態像を教えてください。	1 社会に出ていくきっかけを作っているところ 2 企業就労に向けて事業所に通い始めたところ 3 企業就労を具体的に目指して活動しているところ 4 その他（ ）
(2) 今回、利用者さんを参加させようと思った動機・目的は何ですか？（自由記述）	
(3) 今回の満足度とその理由を教えてください。	とても満足 満足 ふつう やや満足 不満 理由（ ）
(3) 就労体験に参加する前日、右の中から利用者さんが気をつけていたことがあれば教えてください。（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を切る歯を削ぐなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(4) 就労体験の当日に、右の中から利用者さんが気をつけていたこと、チャレンジしていたことはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.体調管理 1.休憩時間を大切にした 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事上の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいざつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(5) 利用者さんが就労体験を経験してから、変わったこと、気をつけるようになったこと、チャレンジするようになったことなどはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）	1.体調管理 1.休憩時間 2.食生活 3.身だしなみ（清潔にする） 4.時間の管理 5.通勤中や仕事上の安全や危険について 6.お金の管理（貯める、使い方など） 7.住んでいる家について（引越し・模様替えなど） 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買ひ物の計画 10.洋服について（洗濯、お手入れ、購入など） 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいざつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれからやりたいこと（趣味・仕事など）を考える 20.社会に参加すること
(6) 今回の就労体験は、日常の支援とは違う部分で、利用者さんへどういった学びや気づきがあると感じましたか（自由記述）	
(7) 利用者さんが就労体験で学んだことは、これからの生活や社会に出ていくにあたり役に立つと思いますか？	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない 6. わからない
(8) 就労体験終了後に、利用者さんと振り返りの場や、感想や思いなどを共有する場は設けていますか？	1. 毎回設けている 2. たまに設けている 3. 設けていない 4. 体験中に共有している 5. そのほか（ ）
(9) その他、感想や伝えたいこと、ご不満点やご要望、改善希望点やアイデア等、自由にご記入ください。	

アンケート調査・検証結果③

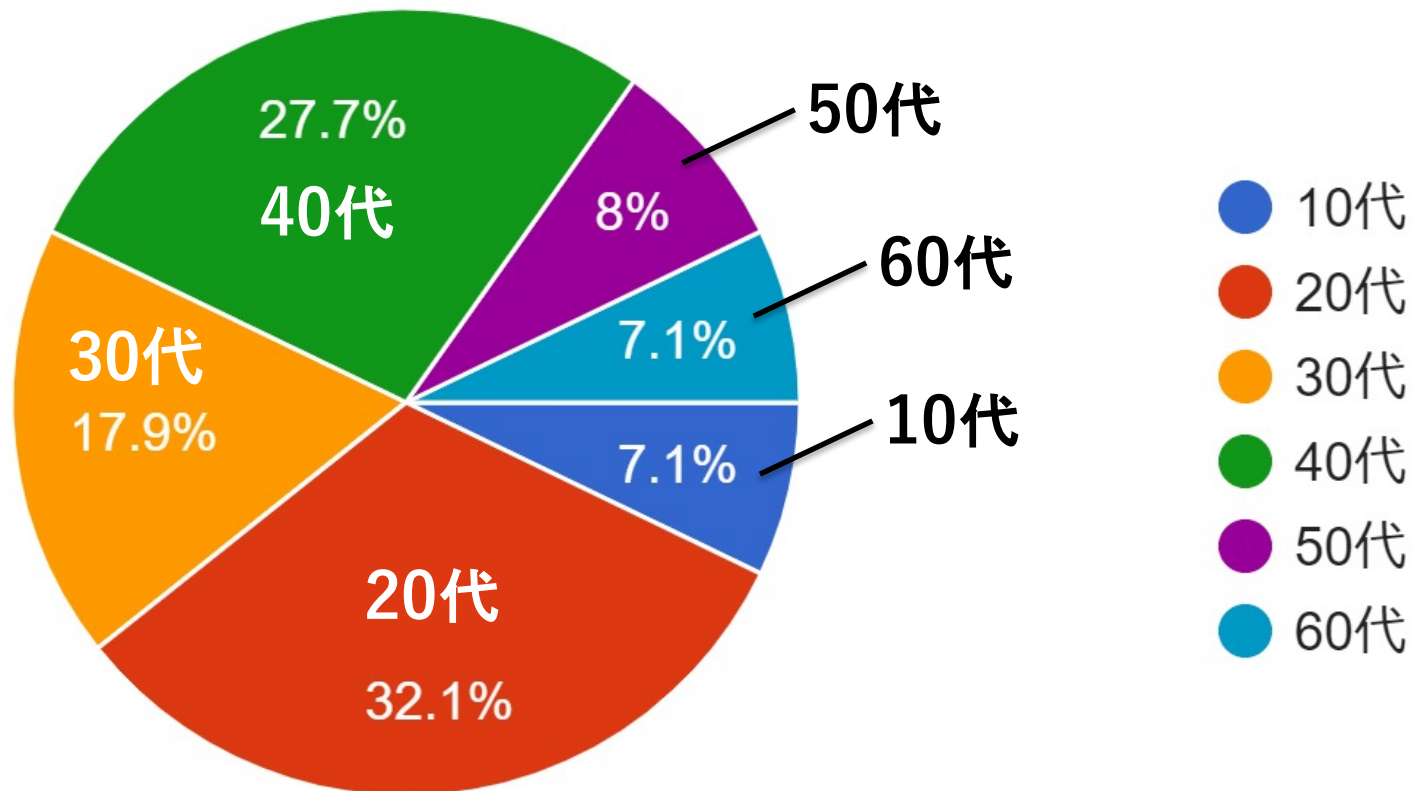
就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 年代 >

■ 10代から60代までと、参加者の年齢層は広い

■ 20代から40代が全体の8割を占める

※ 川崎市と比較すると30代が1割↓、10代・60代が1割↑

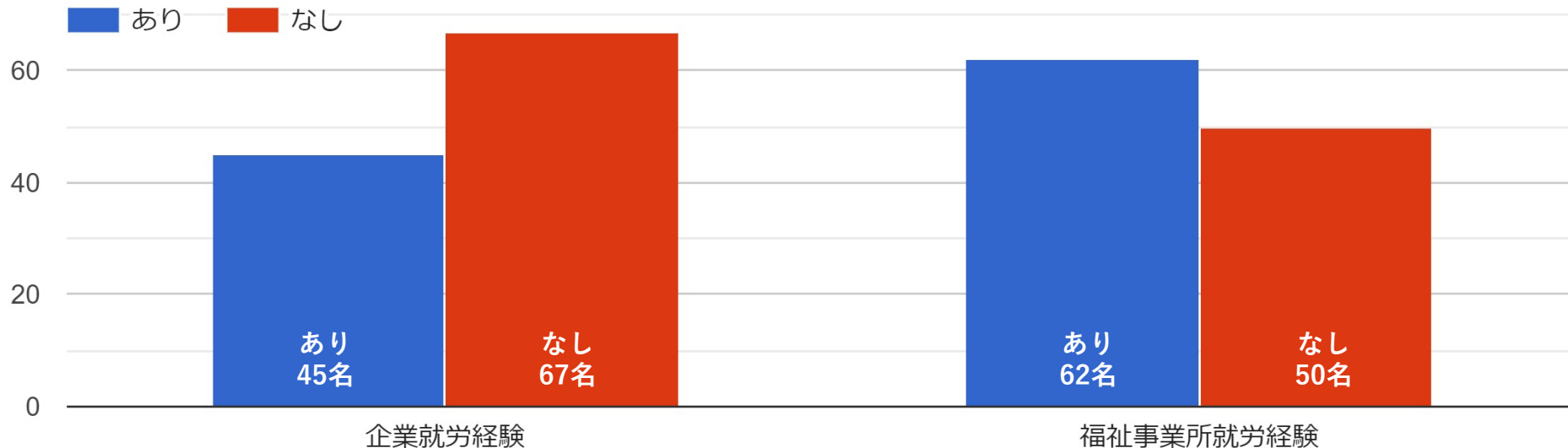


アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 就労経験の有無 >

- 企業への就労経験がある方は約4割、福祉事業所での就労(A型事業所通所)経験がある方は6割
- 障害者が社会に出て学ぶ・働くといった経験や機会が少ないことがわかる
- 川崎以外の地域ではA型事業所での就労経験がある方が3割多い



アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< プログラムに参加した理由（自由記述で104名の回答） >

- 色々な経験を積みたい、社会経験をしたい、挑戦したいという声も多数あった
- コンサートやサッカーに関われることを楽しみにしている方が多く、
地方地域ではプログラム終了後に観覧、観戦できることも参加のモチベーションにつながっている
- 対価を得られることは仕事をする上で重要な価値観であることがわかる

働く意識を高めたかった。

サッカー選手を見たい。

コロナウイルス。

サッカー選手に会いたい。

社会勉強。

外出したい。

チャレンジ精神。

色々経験してみたいと思ったから。

サッカー選手が好き。

頼まれたから。

応援したかった。

サッカー選手に会えるから。

座席拭きの仕事に興味があったからです。

サッカー観たいから。

サッカーが好き。

サッカーが好きだから。

土曜開所と重なったため。

工賃が上がるかと思ったから。

ビックスワンのサッカーの試合を観戦してみたかった。

一般就労を目指している。

ビックスワンに行きたかったから。

以前からサッカーアルビレックスを応援していました。琉球戦が大事な試合ということもあって参加してみようと思いました。

外で体を動かすのは健康にいいので。

土曜開所と日が合ったため。

なんとなく。

体験したかったから。

就労体験を経験したかったので。

自分の子どもも障害がありましたので、参加しました。

会社の紹介。

声をかけられて。

コロナ禍でバザーとかイベントとかできなかったから、何かあるかなと思い、参加してみようと思った。

将来就職するための第一歩。

アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

こういう仕事をしてみたかった。楽しんで仕事できそうだったから。

座席拭きの仕事に興味があったからです。

就労体験終了後にコンサートが聴けるから。

今までは経験した就労体験では、交通費や報酬をもらったことがありません。今回は、報酬をいただけると母に聞き、張り切って参加しました。

友達も参加すると聞いたので安心でしたし、初めて会う人と仕事をするのも楽しみでした。

以前（去年）も参加したことを覚えていたから。

友人からのお誘い。

上記理由に加えて、色々な仕事に挑戦しようと考えていたから。また障害特性見極めのため。

支援員からの勧め。

MYFCの試合を観る方に気持ちよく観てもらいたいので。

自分にとって挑戦しようと思いました。

サッカー選手に会えるからです。

誘われたから。

パソコン業務以外でも問題なく仕事が行えるのかを知りたくて参加しようと思いました。

色々体験したかったです。

古市さんに誘われたから。

土曜開所と重なったから。

色々体験したかったです。

みんなに誘われて。

職員の勧め。

金、経験。

お金を少しでももらいたいから。

やる気がありました。

土曜開所と重なった。

新しいことをやってみようと思ったから。

少しでも働く体験をしたかった。

1つのことを成し遂げることが今後の社会生活で必要だと思い参加しました。

スキルアップのためと精神面の強化。

自分の力が少しでも役に立てると思ったから。

イベントスタッフの業務に興味があった。

興味があった。

土曜開所と日が合ったから。

色々経験してみたいと思ったから。

作業所の商品を売りたいかったので。

アルビレックスが好きだから。

超福祉展のボランティアに参加していたので、就労体験もやってみたくったから。

新しい作業にチャレンジしてみたかったから。

試合うれしかったです。

少しでもお役に立ちたいと思ったからです。

掃除の仕事をやってみたくったので参加した。

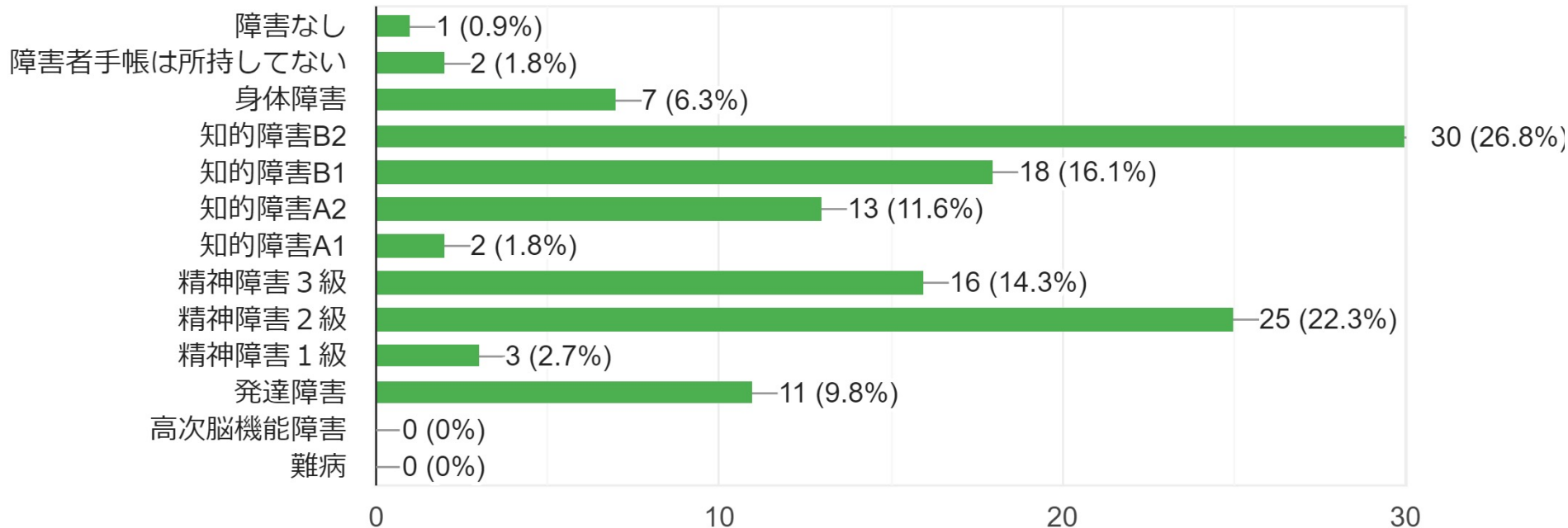
親に言われて、お小遣いをもらえるとと思ったから。

アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 障害属性 >

- 身体・知的・精神・発達の全障害属性の方々がプログラムへ参加
 - 身体・発達が約2割弱、知的が約4割、精神が約4割
 - 障害なしと答えた方は約1割未満で、ひきこもりや、手帳を保有しない方々も参加
- ※ 川崎市と比較すると知的が1割↓、精神が1割↑



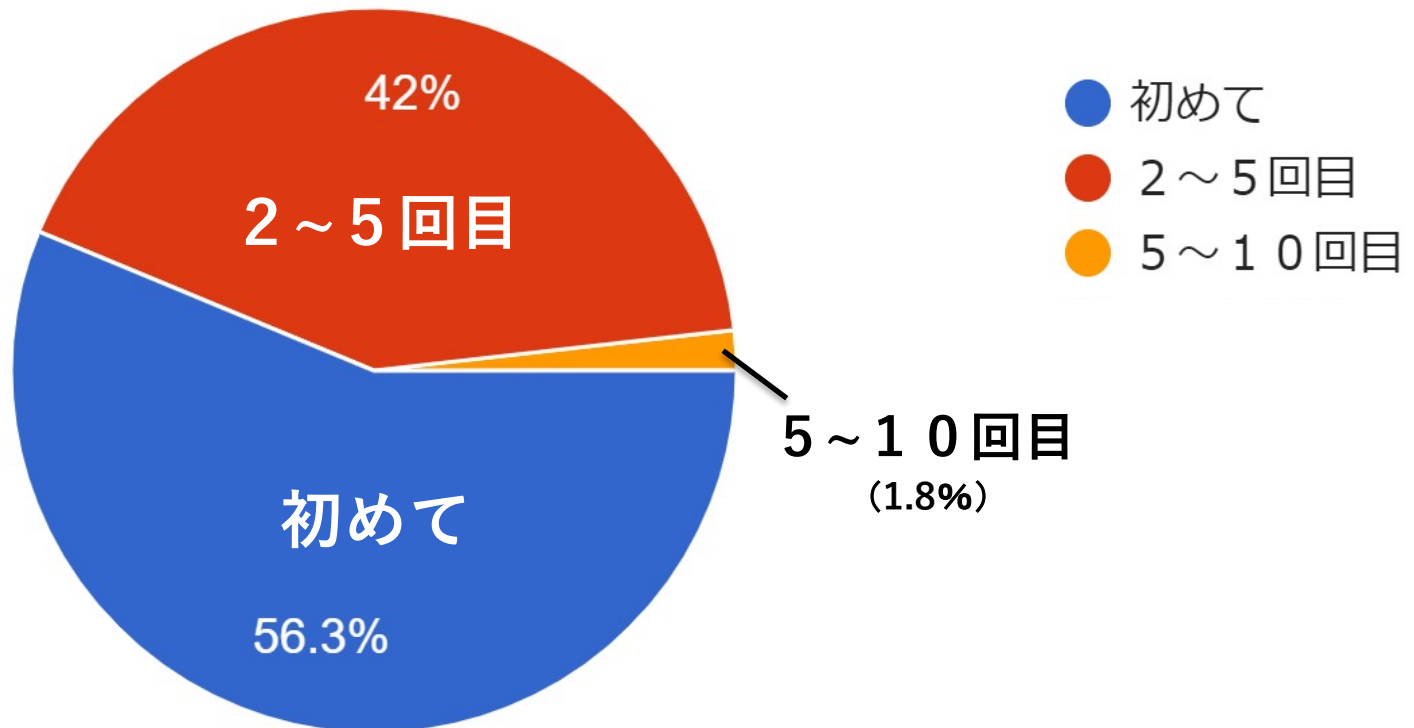
アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 参加回数 >

- 初参加の方が約5割、2～5回目の参加の方が4割
- リーピーターの参加者も多いことがわかる

※ 川崎市と比較すると初参加の方が2割↑、2～5回目の方が1割↑、5～10回目の方が1割↓



アンケート調査・検証結果③

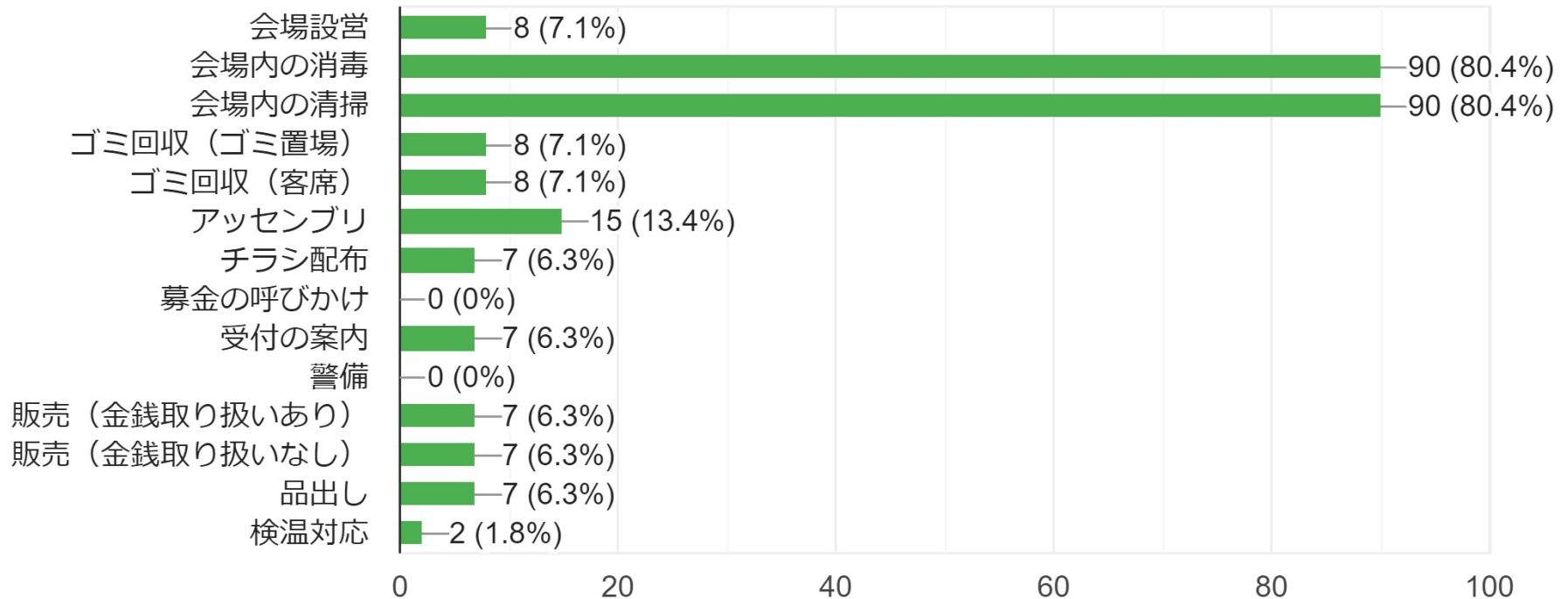
就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 体験したプログラム（仕事）の種類 >

- プログラム（仕事）の種類は10種類以上を用意

新型コロナウイルス感染症対策として、不特定多数の方と接する機会の少ない会場内の消毒、清掃などがメインになっている

- 感染症対策に伴ったプログラムも用意



< プログラム参加前に気をつけたこと >

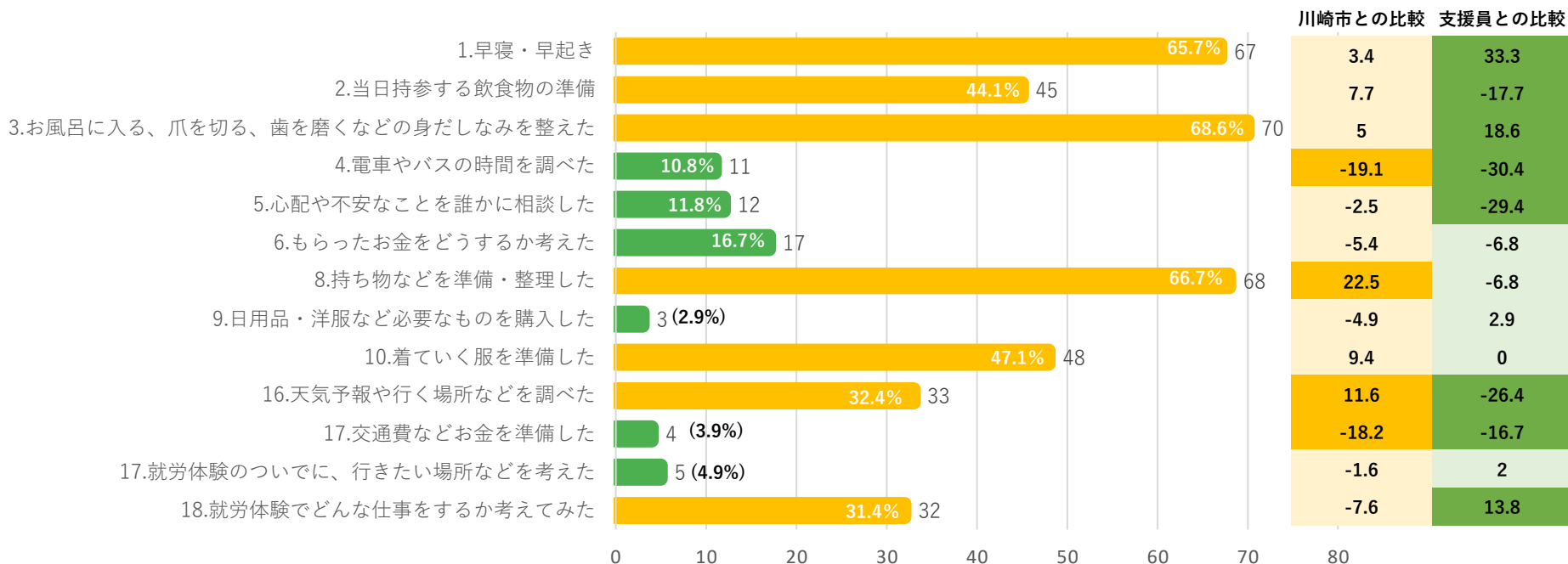
■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール2.食生活、モジュール3.セルフケア）
- ・自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理、モジュール10.衣類管理）

■ 事前には、早寝早起・準備・身だしなみを整えるなど「生活の基礎をつくる」部分、持ち物や洋服などの準備など「自分の生活をつくる」部分における学びがあったことがわかった

※ 事前準備に関する項目のポイントが高い

※ 川崎市と比較すると「モジュール8.そうじ・整理」への関心が高く、「モジュール17.外出」への関心が低くなっている



< プログラム参加当日に気をつけたこと >

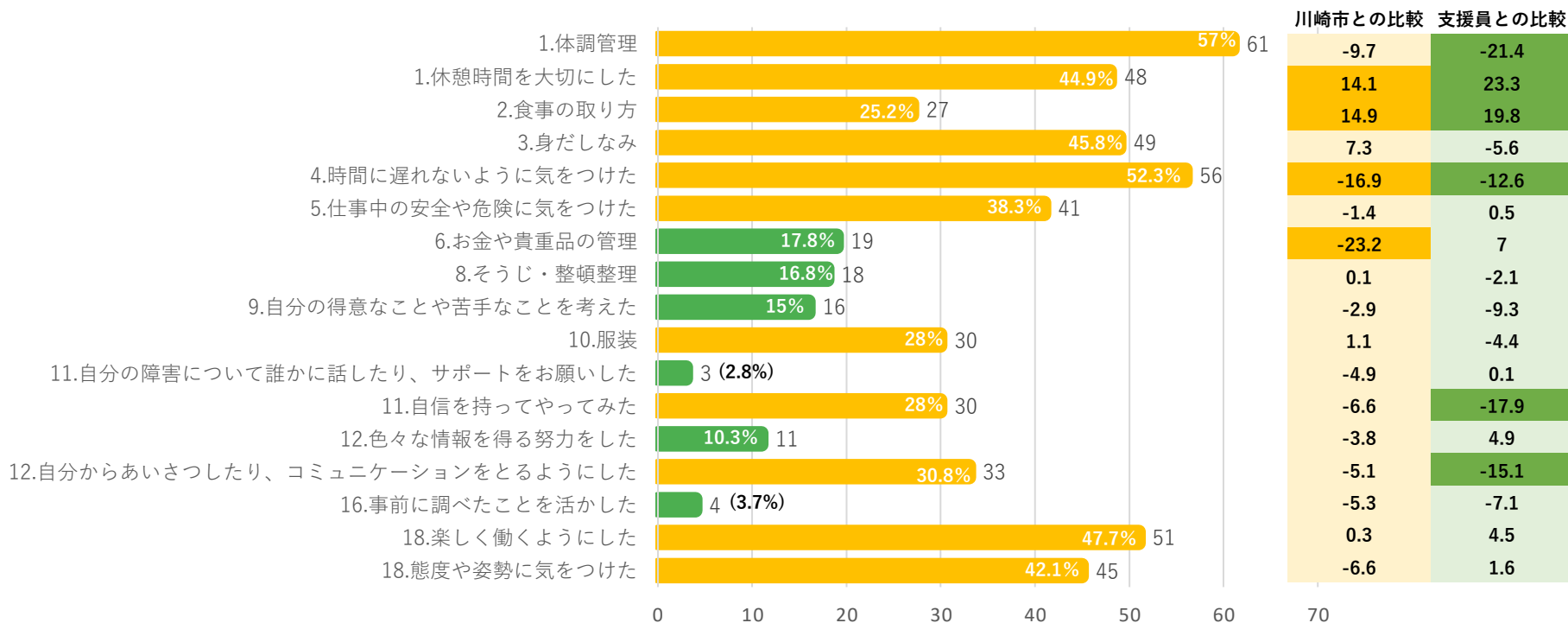
■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理）
- ・社会参加する（モジュール18.働く）

■ 当日は、体調管理・身だしなみ・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、
楽しく働く・態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における学びがあった

※ 「生活の基礎をつくる」部分においての意識がとて高い

※ 川崎市と比較すると「モジュール4.時間管理」、「モジュール6.金銭管理」への関心が低くなっている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

< プログラム参加後に気をつけたこと >

■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア）
- ・自分らしく生きる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）

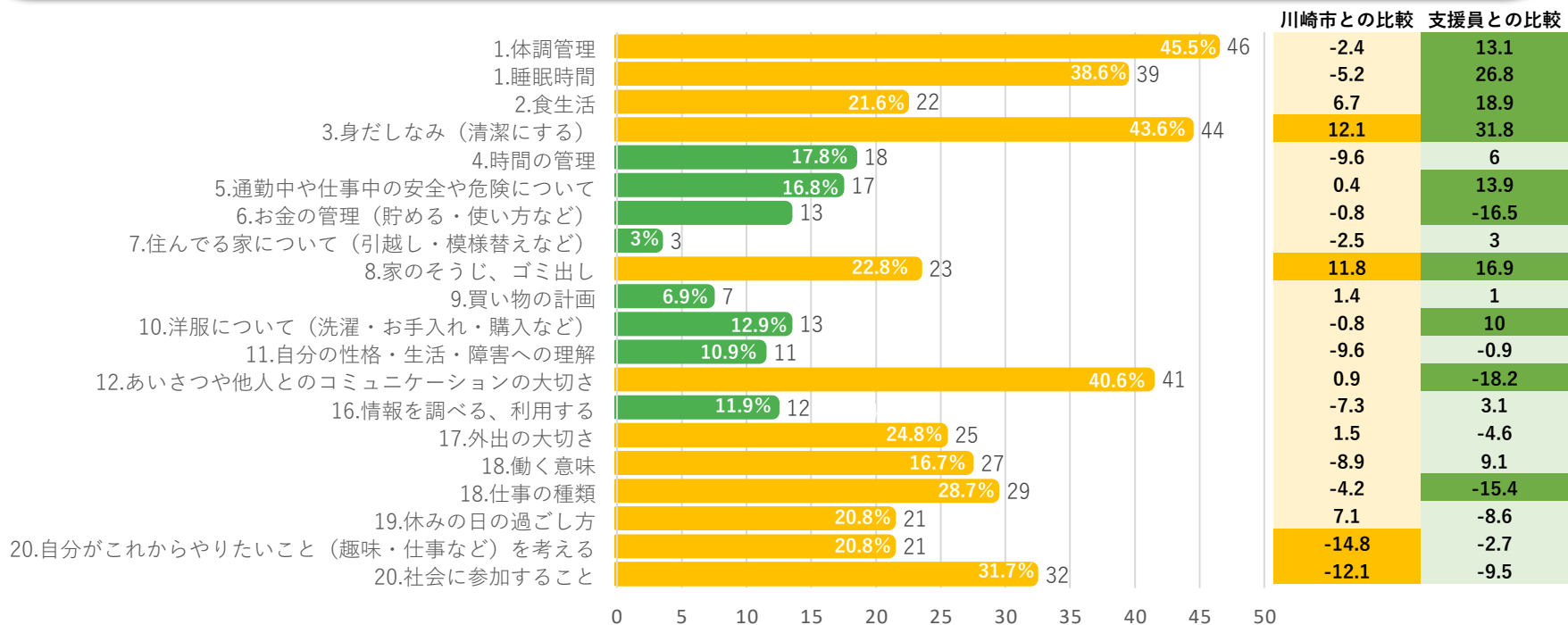
■ 参加後は、体調管理・身だしなみなどの「生活の基礎をつくる」部分、

コミュニケーションなどの「自分の生活をつくる」部分における学びがあったことがわかった

※ 参加前と比較すると生活や外出に関係する学びがあったことがわかる

※ 「社会参加する」部分において川崎市のほうが関心が高いのは、参加回数を重ねることによって得られる学びだと考えられる

※ 川崎市と比較すると「モジュール3.セルフケア」への関心が高く、「モジュール20.社会参加」への関心が低くなっている



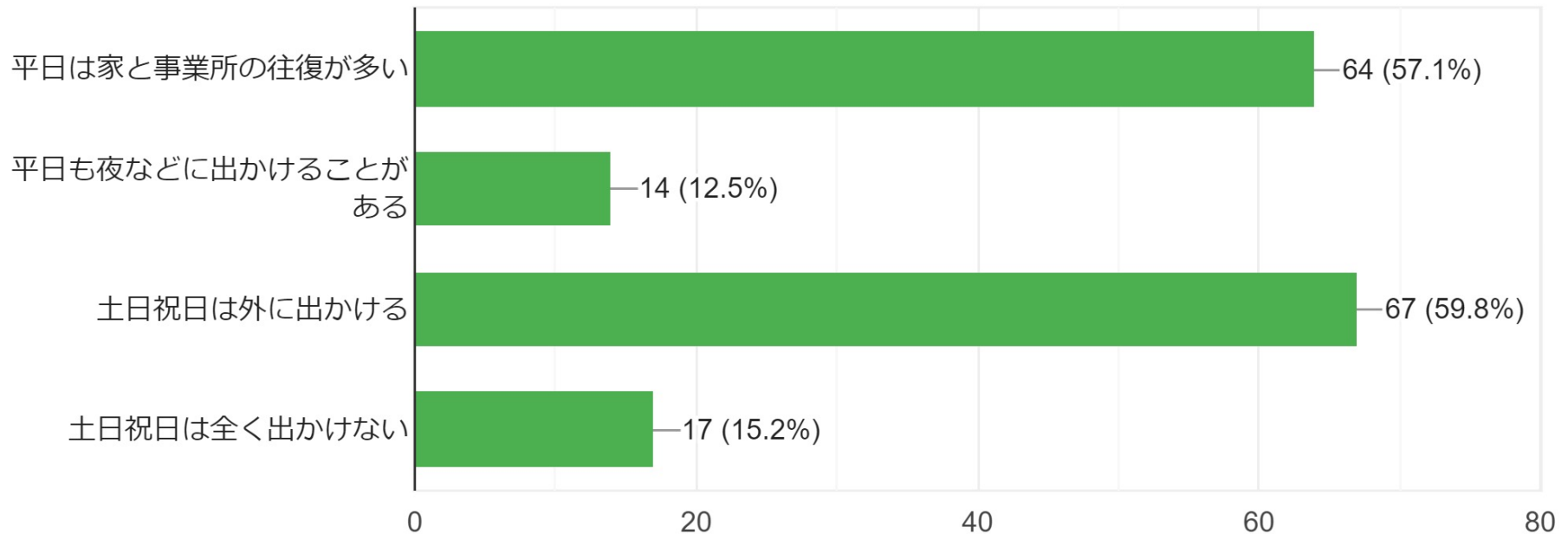
アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 普段の生活について >

- 平日は家と事業所の往復が多い方が約6割
- 休日は外に出かける方も6割いることから
仕事と余暇のバランスがとれている方も多いと考えられる

※ 川崎市と比較すると休日に外出する方が2割↑

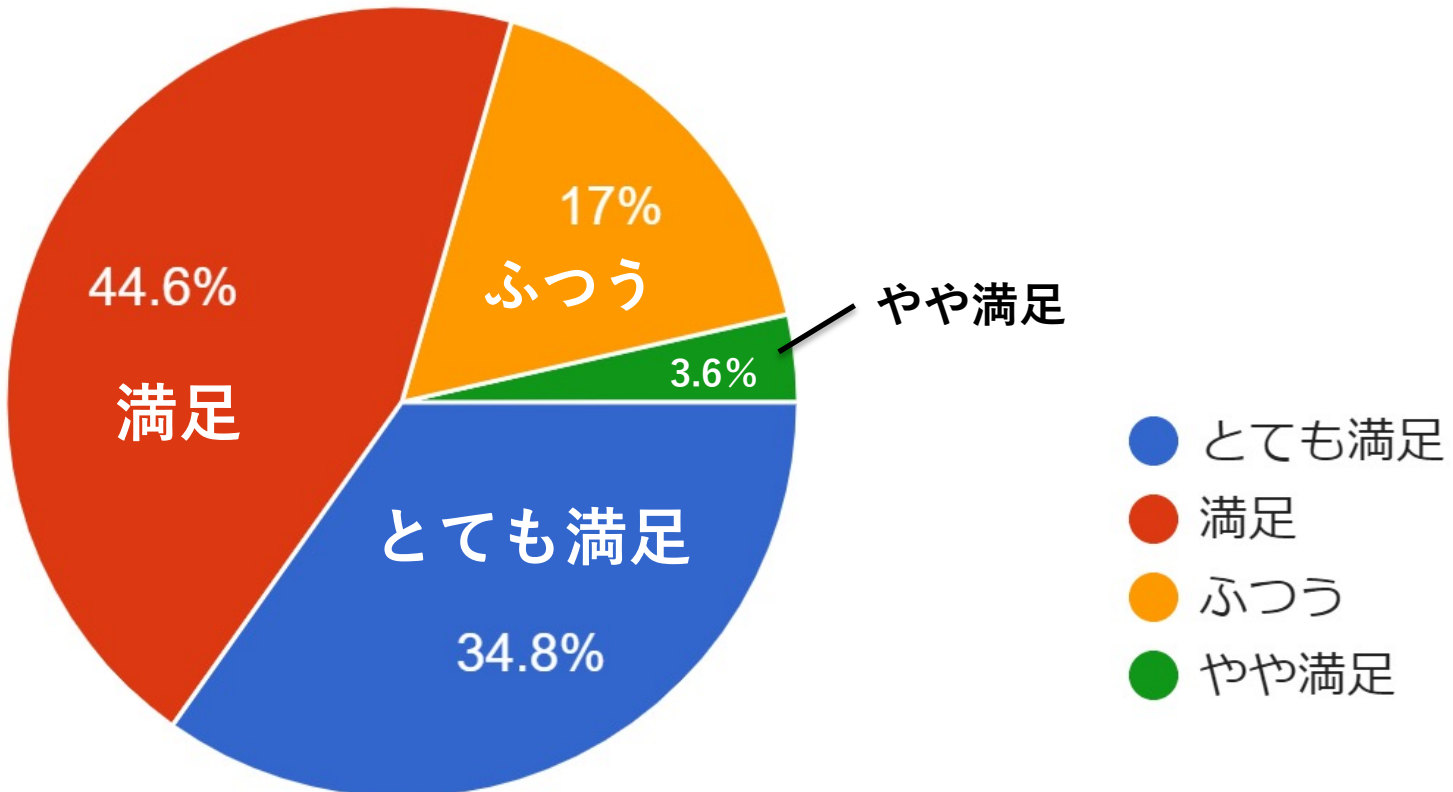


アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< プログラムの満足度 >

- 満足という方が8割、ふつうという方が2割
- プログラムへの満足度が高い



アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 前項目の理由（自由記述で62名の回答） >

- ふつうと回答した方の中には、自己反省をしている、慣れない環境に疲れを感じた方もいる
- イベントの運営する立場と参加する立場が同時に体験できること、プログラムに参加しながら対価を得られること、社会の役に立つこと、自分の力を発揮できたことに対する満足度が高い

応援楽しい。

サッカー選手を見れた。

なんとなく。

外出できた。

短時間で効率的だった。

時々、作業後に試合を観れる。

応援できるから。

サッカー選手が見れた。

わからない。

普段の仕事と大変さは変わらなかったの。

土曜開所と重なったから。

わかりやすい、感激しました。

サッカー選手をたくさん見れた。

作業が楽しかったから。

お金がもらえたことと、自分のペースで動けた。

作業で困ることがなかったから。

お客さんの協力もいただいて、コンサートも聴かせてもらい、その上実

際に働いてお金をいただいたの。

効率が良かった。

楽しかった。

清掃はよくできたけど応援の音楽が少し苦手でした。

楽しい。

久しぶりの屋外作業。

マスクの下に笑顔が作れていたかわからない。

私はサッカーの応援したいからです。

座席がキレイになったけど、だいふ疲れてしまったから。

お金が出るから。

色々体験したかったです。

お客さんが座る席を消毒したと思うと嬉しかったから。

イベントの裏方に当たる業務を体験できたから。

人混みで疲れた。

きれいになったから。

作業はおもしろかったが暑かった。

歩くのが楽しくなった。

とても楽しくできたことです。

楽しいから。

午後の試合を楽しみにしながらやっていたから。

みんなと一緒に手際よくできた。

アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< プログラムに参加して学んだこと（自由記述で71名の回答） >

- 挨拶や“ありがとう”などのコミュニケーション、チームワーク、協調性を学んだという声が大半をしめた
- 社会や仕事に対するポジティブな印象の変化や、仕事の選択肢が増えたと感じる方が多い
- 他者や社会を意識することで自己理解が深まっている
- 普段と違う環境下で、普段は接する機会がない方々と接することが、これらの学びを生み出している

色々な仕事があると思った。

他の仕事も気になった。

しいたげができるようになりました。

勝手に動かない。

睡眠時間。

掃除のやり方。

試合をするまでは選手、サポーター以外にもたくさんの人が裏で働いて（作業）いると思った。

やっぱ座席けっこう汚いからきれいにするのが大事だなあと思いました。

色々な仕事があるとわかった。

コミュニケーション。

皆で協力できた。

やっぱ座席けっこう汚いからきれいにするのが大事だなあと思いました。

同じ作業を行う人とのコミュニケーションは大切だと感じた。

人の顔を覚えるのが苦手なので、今回に関していえば誰が検温済みなのかどうかわからなかったのが、障害特性で仕事に支障をきたす恐れがあること。

新鮮に感じる。

皆さんと一緒に清掃（座席拭き）できて、お客様の役に立ってよかった。

一つ一つ丁寧にできたこと学びました。

楽しい気持ちが生まれた。

荷物を隅に固めておいておく。職員の指示に従う。人の邪魔にならないように集まる。態度や姿勢に気をつける。

仕事を分担して行うことの大切さを学びました。

笑顔をつくる、表情を意識する。

知らない人に挨拶をすること。

活気があることは元気が出るので良いなと思いました。

ゴミを分別して捨ててくれる人が多い。いいことだなと思った。

病気もあり、他人を怖いと思って過ごしてきたが、ファンの皆さまが優しく、生活していく上での安心材料になりました。

周囲を気にして作業する。

みんなとコミュニケーションをつけたこと。

わかっているけど、それを伝えること、言葉にするのが難しいです。

知らない人に挨拶をすること。

消毒が足りない。気づきました。

お金を稼ぐのは大変なこと。

ゴミがたくさん出ていることが気になった。

色々体験ができてよかったです。

作業を効率よく進め方。

言葉遣い。

1つのことをみんなで協力してやり遂げるといことや担当者同士でコミュニケーションを図って仕事をする。

お客さんに感謝されるのでとても勉強になります。

集団行動の大切さ・大変さ。

体験できた。

とてもそう思います。

他の事業所さんの挨拶などが素晴らしかったので見習いたいです。

作業のやり方を学べた。掃除を学べた。

なるべく荷物を隅に片付けておくと人の邪魔にならない。

アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< プログラムに参加して、自分の中で変わったこと、気づいたこと（自由記述で54名の回答） >

- 体調管理、コミュニケーション、外に出る、働くことの大切さに気がついた方が多い
- いつもと違うことにチャレンジすることで、得意不得意を考える機会、選択肢を広げる機会になっている
- 集団の中で行動することで、自分のポジション（役割）を考える機会にもなっている
- 「気がつく」「考える」機会となり、能動的な学びや社会参加に向けた具体的な行動に結びついていることがわかった

返事をする。
色々な仕事があるとわかった。
アルビレックスに対しての考え方。
ゴミをちゃんと捨てる。
スタジアムでの観戦は感動するなと感じました。
スタッフの指示に従って動くことに気がつけた。
イスを拭くのが速くなりました。高いところが苦手です。
自立したいと強く思った。
試合中でも観ている人の邪魔にならないようにゴミ回収ができるようになればと自ら考えた。スタッフの方に提案した。
母に就労体験と言われて面倒くさかったけど、やってみたらとても楽しかったです。声が出ているね、笑顔がいいね、などほめていただき嬉しくなりました。
雨が降ったときもあったので、カップを用意したほうが良い
頑張ろうと思う。
体力の衰え。
「〇〇した方が効率的ですよ」と提案を同じ作業チームの人にできたことは得意なことだし、それをできたことで改めて得意なことだと気づいた。
積極的に話しかけるところ。
あいさつができました。
普段接触しない人たちと接触することは、貴重で楽しいと思った。
皆さまとコミュニケーションを取りながらひとつのことをやり終えたことの充実感などが味わえたこと。
これからも人のためになることをしていきたいです。
椅子にカラスのフンがついていた。

障害特性の再認識。
自分でもできることがあるとわかった。
雨が降ったときもあったので、カップを用意したほうが良い。
掃除、あいさつが他にもできるようになった。
もっと頑張りたい気持ちが生まれた。
自分自身ももっとコミュニケーションを取れるように努力しつつ、人に話しかけるようにしたい。（苦手分野を少し克服する）わからないところは教える。
力仕事も行けるのかな？という考え。
頑張りたいです。
思ったより鳥のフンが多くて、キレイにしがいがあった。
今やっている仕事以外の接客の仕事も楽しかった。たくさん説明できて嬉しかった。
主体となって引っ張っていくより、サポート役がっている。
自信がついた。
色々な仕事があるということ。
しいたけ並べることができました。
接客態度をしっかりしようと思いました。
歩くことを頑張った。広範囲に移動し仕事ができる。
「いらっしゃいませ」と言うのはなかなか恥ずかしかったけど言えた。
人の役に立つと気が付いた。
そう思います。
忘れないようにメモをとること。
天気を気にするようになった。
将来の仕事が少しイメージできた。

アンケート調査・検証結果③

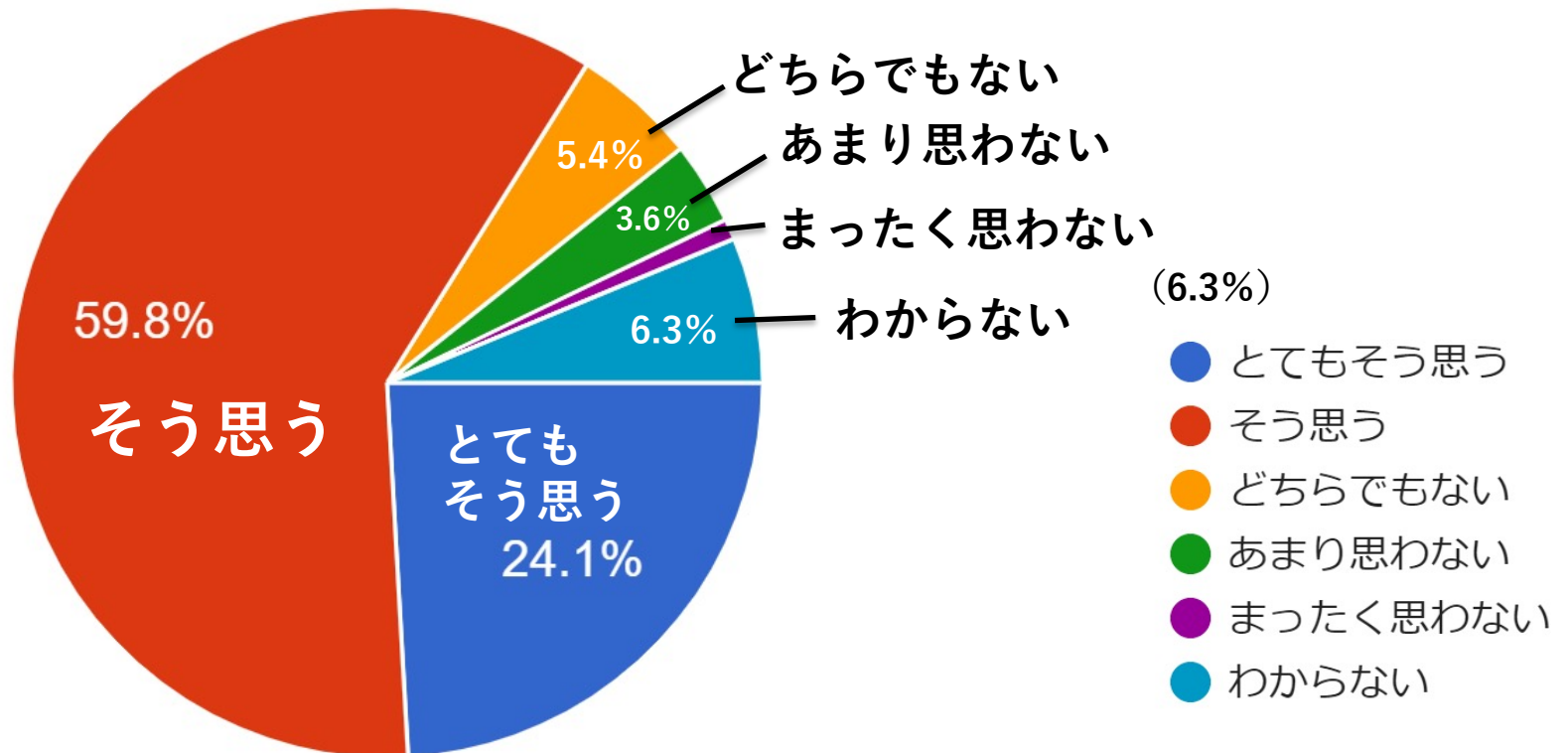
就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 就労体験で学んだことはこれからの生活や社会に出るときに役立つと思うか >

■ そう思うという方が8割

■ どちらでもない・あまり思わない・わからないという方が2割

※川崎市と比較するとそう思う方が1割↓



アンケート調査・検証結果③

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所参加者様アンケート結果（有効回答数：112名）

< 前項目の理由、その他感想など（自由記述で57名からの回答） >

- プログラムの内容（仕事）が大変だったが、楽しかったと答えた方が多い
- 社会や地域と関わることの大切さを人とのコミュニケーションを通じて学んだ方が多い
- 「楽しかった」「また参加したい」という声が多く、“晴れの舞台”で働く経験が社会参加の意欲へつながることがわかる

楽しかったです。

欲しいものが買えた。

休み以外に働くのはやっぱり疲れちゃうけど行ってきた達成感があった。またっていうと考えると思う。

夏の作業は暑くて大変だけど、裏側を知れてよかったと思う。また参加したい。

本日は貴重な機会を設けていただきありがとうございました。1か所20分、場所が変わるときに少し休憩させていただいて助かりました。足が痛くなるので、立ち仕事は大変だなと思いました。一番楽しかった仕事はパンフレットの配布です。サポーターの方と競争して渡しました。受け取ってくれた人の中には「ありがとう」と言ってくれる人がいて、とても温かい気持ちになりました。初めてお金をいただいて、嬉しかったです。お小遣い帳に記入しました。大事に使います。また、お仕事体験したいです。よろしく願いいたします。

世の中が沈んでいる中、試合は活気があって元気をもらいました。

サッカーが大好きなので参加した。

障害者にとってアンケートはやめてほしいことです。仕事自体は楽しくできた。

もう少し長時間の作業をしてみたかった。

地域に溶け込むこと。

お父さんのサッカーについて知っている。一緒に観れてよかった。楽しかった。

現在は母の介護をしながら、家での作業をしているので、長時間の就労は難しいです。

また機会があったら参加したいです。

笑顔の人は生き生きしていい。

厳しすぎと思いました。

今回のような機会を作っていただきとても感謝しています。ありがとうございました。

定期的と同じような仕事に呼ばれれば参加したい。

主催者の方は並んで手を動かさないほうが良いと思った。ブレインとして1か所にいてくれて指示を出してくれた方がありがたい。

楽しかったです。また五反田で働きたい。でも22日は日帰り旅行だからいけないうです。障害特性で業務にどう支障が出るか1つ学べた。

こういうのもあるから。

頑張れてよかったです。

暑い中での作業をやっていてツライときもありつつ丁寧に慌てずやれてよかったです。

（もう少し給水タイムを長くしてほしい）

また行ってみたい。

パソコン業務だけでなく、力仕事といったことを経験することで、就職する上で、経験することが何よりも大切だと思ったからです。

椅子拭き作業やりたいです。

また機会があれば誘ってください

また、色んな就労体験をしてみたいです。ありがとうございました。

また参加できたらと思っています。その時はまたご指導いただきたいです。

社会に貢献して喜んでいただきありがたかったです。

楽しかった。

また体験させてください。

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所
支援員様のアンケート結果（有効回答数：40名）

アンケート調査・検証結果④

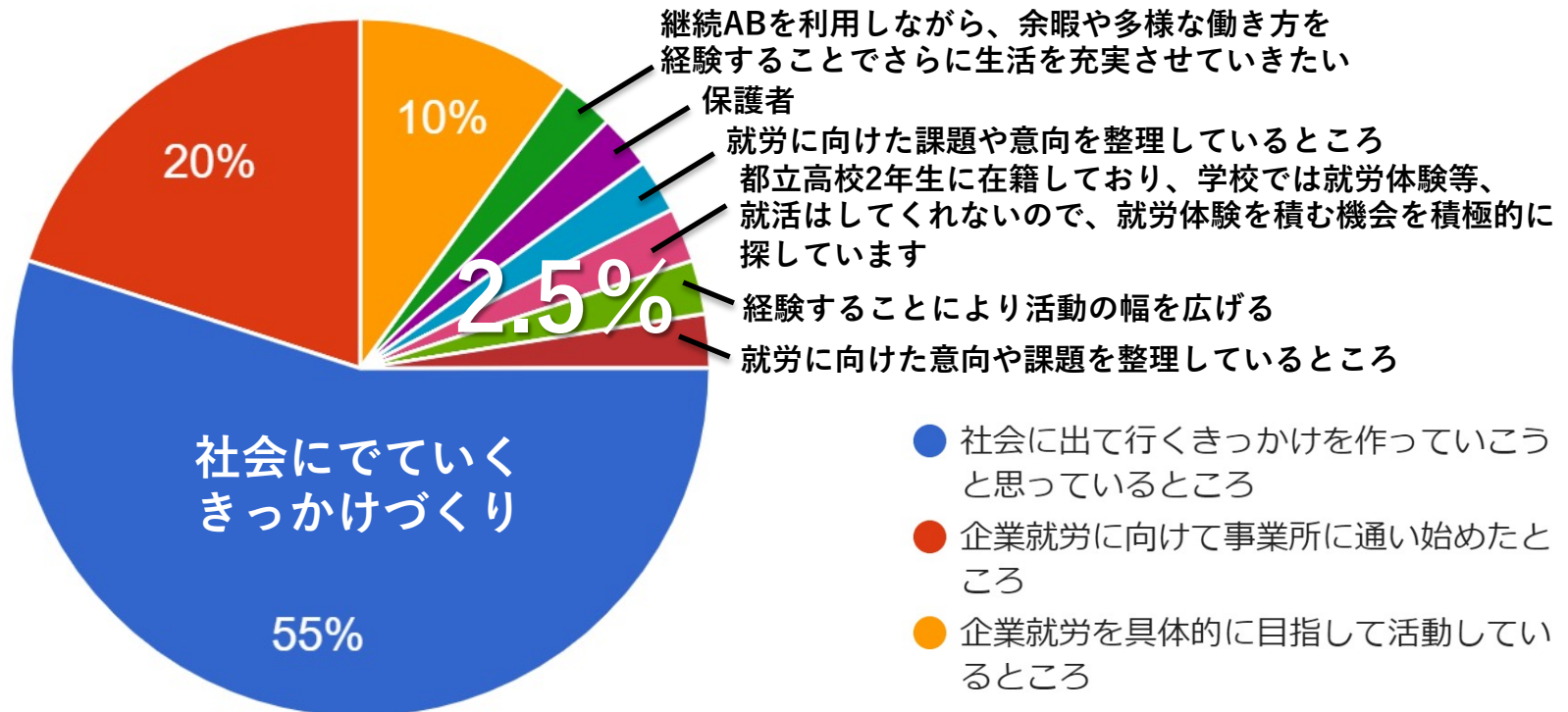
プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< 参加した利用者様の状態 >

■ 「社会にでていくきっかけづくり」という、社会参加の第1歩目の状態の方が約5割を占める

■ 事業所の目的である利用者様の社会参加に向けて活用している

※ 川崎市と比較すると「社会に出て行くきっかけづくり」と回答した方が1割↓、「事業所に通い始めたところ」と回答した方が1.5割↑、「企業就労を目指している」と回答した方が1.5割↓



アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< プログラムに参加した理由・目的（自由記述で40名の回答） >

- 働くこと・他者と関わること・社会というものを学ぶ場として活用されている
- 「働く」ことへのイメージ作りの場としても活用されている
- アセスメントをとる場としても活用されている
- 地域社会とのつながりや地域の方への周知のため参加したという声も多い
- 働くという経験を通じて、自己理解を深めるためにも活用されている

経験を増やしてあげたかった。

地域の方と関わる機会を増やしたいと思った。 外で仕事をするということを知ってほしいと思った。

地域とのつながり、社会参加。

作業経験を積み、就労準備をできるように。工賃UP。

アルビレックスが大好きな利用者なので。施設以外の様々な人と一緒に働く機会が欲しい。地域の中で活躍できる機会を増やしたい。

外部との触れ合いや他の施設の方との協力ができればという想い・目的。

現在、特別支援学校高校2年生のため、就労に向けて、またコロナ禍もあり、就労体験の機会がとても減ってしまい、なるべく多くの体験をさせたかった。超福祉展では母子でボランティアでしたが、1人での就労体験はなかなか機会がなく、やってみたいと常々思っていたのでいい機会でした。

工賃の向上。社会参加。障がいの周知。

利用者さんの社会参加。

高校3年生で進路について考えている時期だから。

地域社会とつながり。

「働く」の楽しさを体感してほしかったから。体力や協調性をどの程度持っているのか知れる良い機会になったと思ったから。

利用者さんの意欲喚起と社会参加のため。

就労体験を通して、自分が働くイメージをつかんでもらうため。働く際にどんな力が求められるか利用者自身に考えてもらうため。利用者の就労準備性を職員が把握するため。

特にこちらとして目的は設定していませんでした。ご本人の希望があったため参加していただきました。

高等部3年生で就労のための実習が続く時期です。できるだけ多くの経験を積んで考えられるようにと思い参加させていただきました。

通常通り取り組んでいる施設外就労とは労働環境や作業内容が異なり、利用者の新たな面が見られる可能性があると感じた。

自分の頑張りへの対価が得られるため。

信頼している古市さんからのお声がけでしたので、安心して参加させようと思いました。プロサッカー試合という特別な場所の清掃活動に参加することで、多くの方々と触れ合う経験ができること。活動に貢献し、自信につながったからです。

いつも自分が食べているものが、どういう風に売られているか実感してもらいたい。ダウン症のある息子が楽しそうに手伝っているのを見て、他の方にも体験してもらいたいと思ったからです。

地域の方との関わる仕事を増やしたいと思った。 外で仕事をするということを知ってほしいと思った。

施設外の作業を体験してもらうため。

色々な人と一緒に何かをやる経験を積ませるため。

事業所の活動を広く知っていただくこと。 利用者の方々に自分たちの仕事が社会に貢献していることを感じていただくことなど。

社会との関わりをどのように持てるか、自発性や体調コントロールなどを客観的に知ることができるいい機会だったため。

地域と交流する機会を設け、社会人に必要な力を身につけるため。

本人が参加したいと申し出たため。

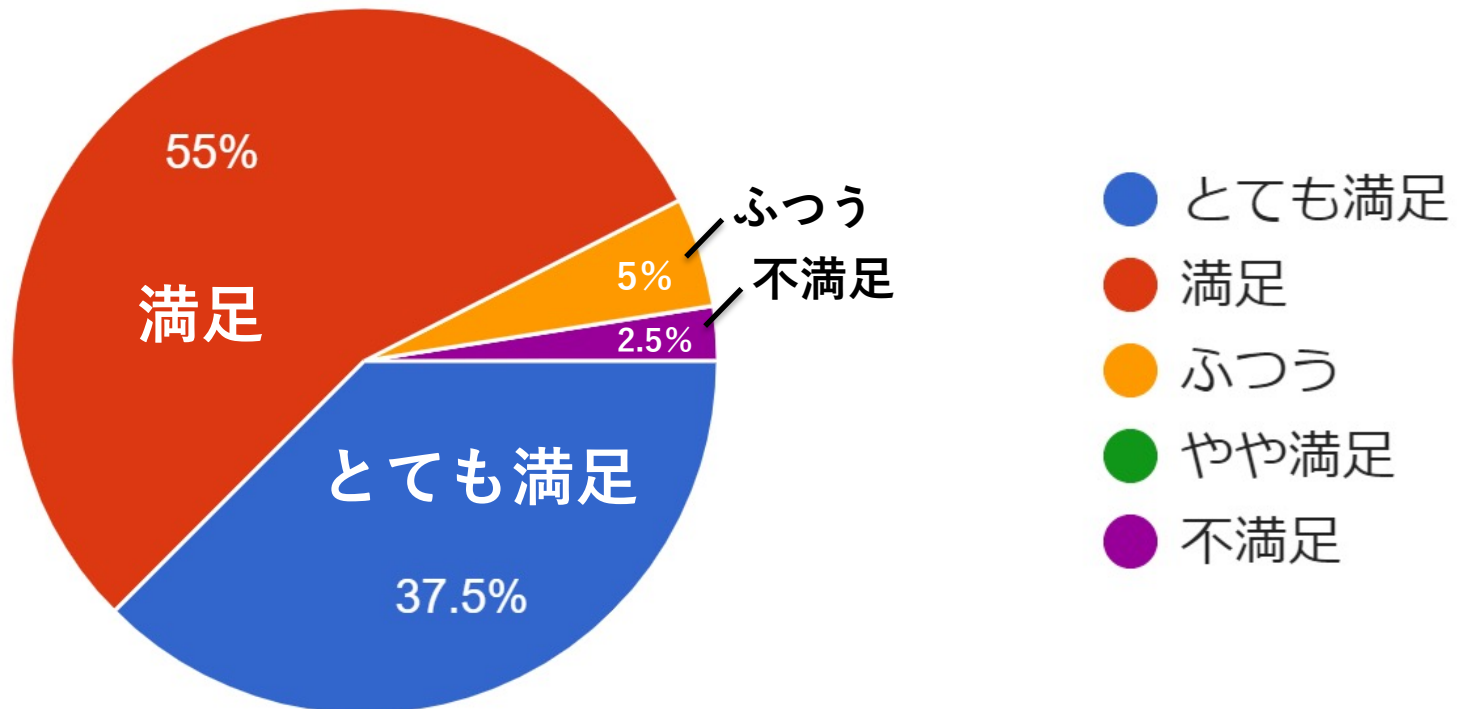
施設外活動を通じて体調や感情のモニタリングをしていただきたい。希望する応募条件を具体化するため自分自身の得手不得手を検討していただきたい。

アンケート調査・検証結果④

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< プログラムの満足度 >

- 満足という方が9割、ふつう、不満足という方が1割未満
- プログラムへの満足度が高い
- 不満足と回答した方の中には、「プログラム内容が大変だった」という声があった



アンケート調査・検証結果④

就労体験プログラムに参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< 前項目の理由（自由記述で26名の回答） >

- 地域と関係を築く機会となったという声が多い
- 非日常的な体験をすることが利用者様の学びや意欲喚起につながっている
- プログラム内容へのご指摘もあるので、より参加しやすいプログラムになるよう各地域の主体事業者と連携して改善につなげる

日常では見ることのできない景色を見ることができた。

障害者の社会参加の活動を報道やお客さんに発信できた。

地域との関りを持てた。

利用者さんと地域の方との関りが増えたから。

事業所の課題ではあるが、人数が少なく作業範囲が広く大変であった。

他者と関わりながら働く機会があまりないので、利用者にとって学びの多い、貴重な経験になったと思うからです。

2人とも参加して良かったと感じ、また参加したいと思った様子だったため。

普段体験できない環境と作業を通し、利用者の視野が広がったように思う。

事業所内では体験できない経験ができた。

工賃UPに。

利用者さんはよく頑張っていたが、時間の使い方がよくわからなかった。

役立っていることが実感できたから（利用者の皆さん）

作業に対する喜び、意欲につながった。

イベント設営や運営の実習機会は貴重なため。

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：34名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加前に気をつけていたこと >

■ 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・ 生活の基礎をつくる（モジュール2.食生活、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理、モジュール5.安全・危機管理）
- ・ 自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理、10.衣類管理）
- ・ 社会参加する（モジュール16.情報）

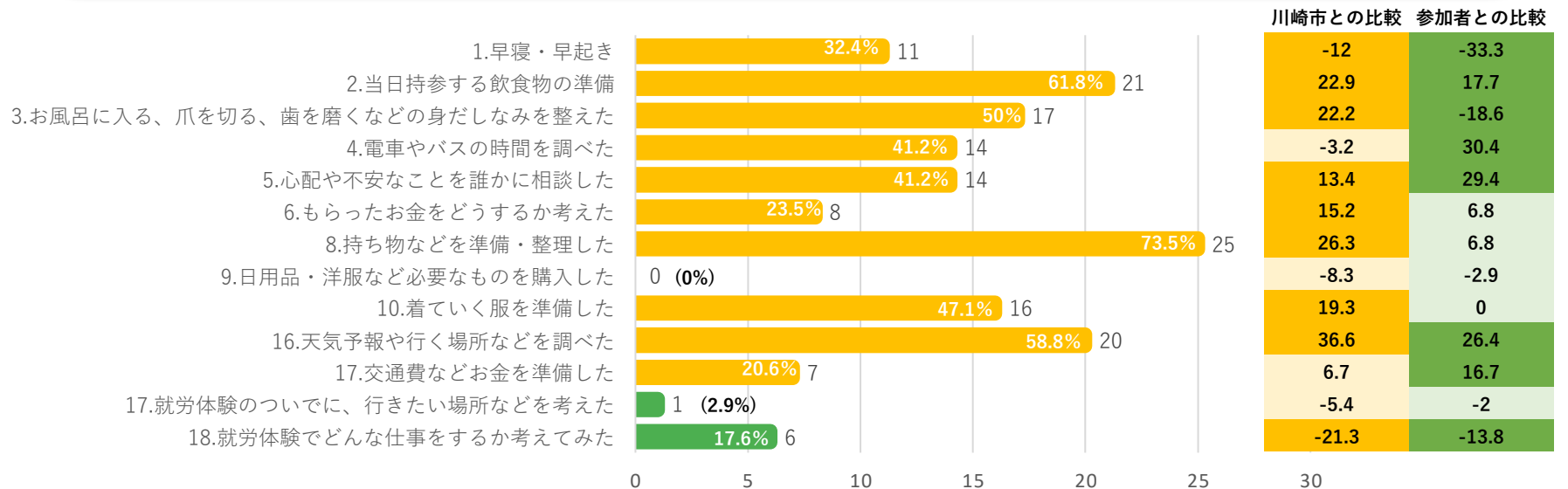
■ 事前には、体調・時間管理・身だしなみを整える・不安なことを相談するなど「生活の基礎をつくる」部分、持ち物や洋服などの準備など「自分の生活をつくる」部分、情報を調べるなど「社会参加する」部分における学びがあることがわかった

■ 「生活の基礎をつくる」「社会参加する」部分において、参加者アンケートとは異なる結果が見られた

※ 川崎市と比較すると事前準備に関する項目のポイントが高い反面、「モジュール18.働く」のポイントが低いことは、地方では当プログラムに初めて参加される方が多いことが影響していると考えられる

※ 参加者アンケートと比較すると「モジュール5」のポイントが高いことから支援者様が積極的にコミュニケーションをとっていることが考えられる

※ 川崎市と比較すると「モジュール2.食生活」、「モジュール16.情報」への関心が高くなっている

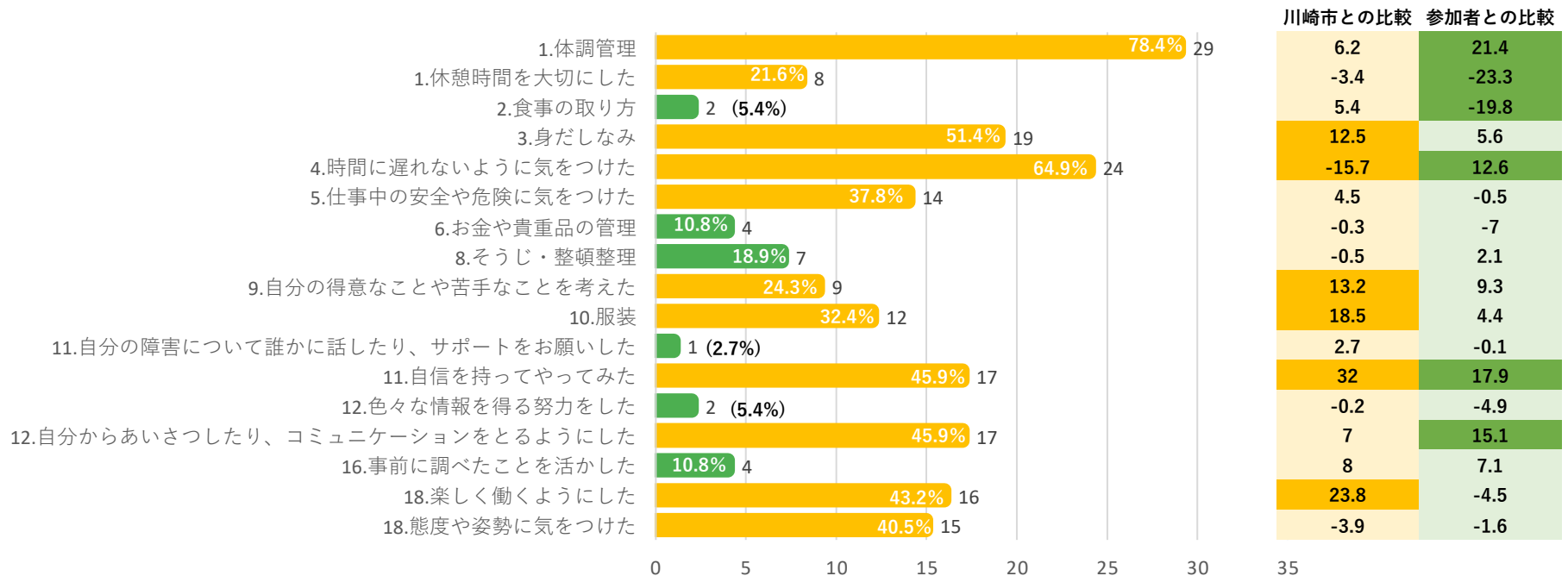


アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：37名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加当日に気をつけていたこと >

- 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理）
 - ・自分らしく生きる（モジュール11.自分と障害の理解、12.コミュニケーションと人間関係）
 - ・社会参加する（モジュール18.働く）
- 当日は、体調管理・身だしなみ・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、自信を持つ・コミュニケーションなどの「自分らしく生きる」部分、楽しく働く・態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における学びがあることがわかった
- 「生活の基礎をつくる」部分において、参加者アンケートとは異なる結果が見られた
 - ※ 参加者アンケートと比較すると支援者様は「社会性を意識して参加している」という印象を持たれていることが考えられる
 - ※ 川崎市と比較すると「モジュール11.自分と障害の理解」、「モジュール18.働く」への関心が高くなっている



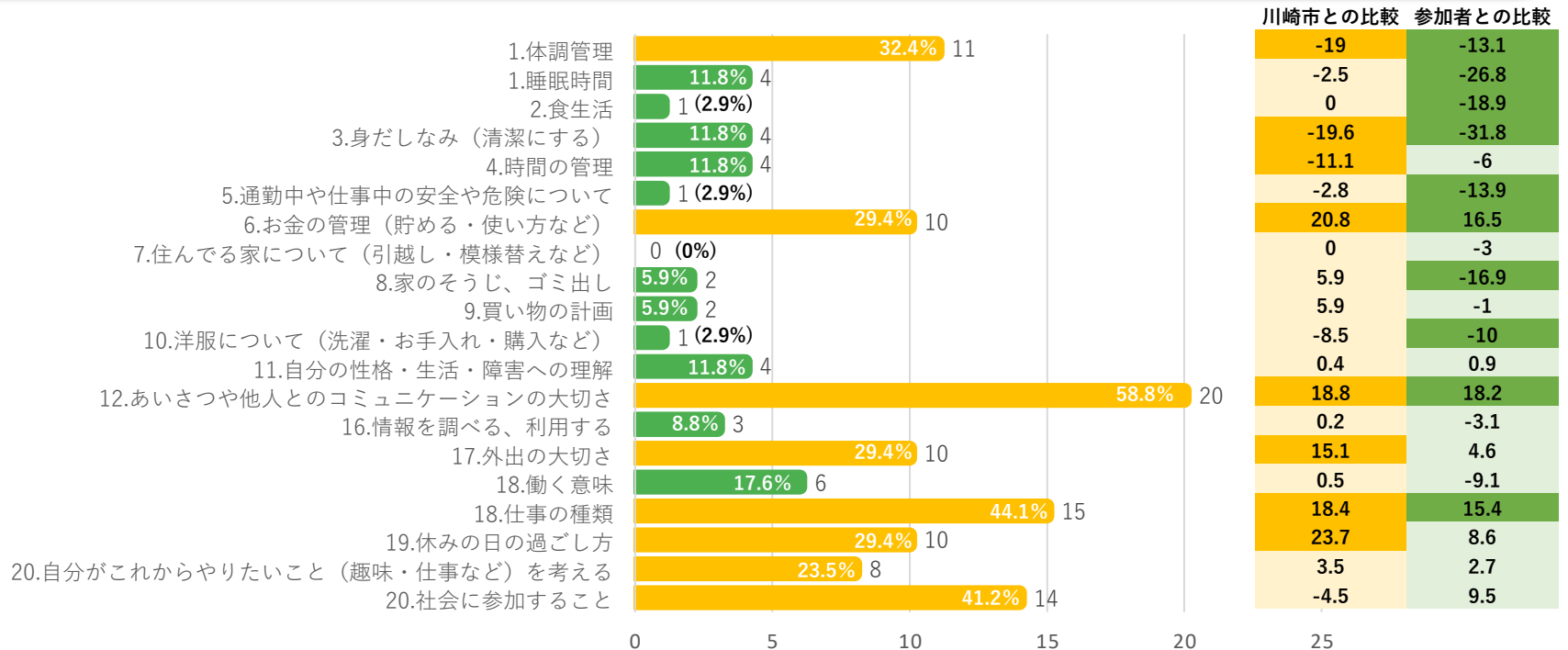
※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：34名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加後に気をつけていたこと >

- 約4割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・自分らしく生きる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
 - ・社会参加する（モジュール18.働く、モジュール20.社会参加）
- 参加後は、コミュニケーションなどの「自分らしく生きる」部分、仕事の種類・社会に参加することなどの「社会参加する」部分における学びがあった
- 「生活の基礎をつくる」部分に参加者アンケートと結果と大きく違いがみられる
 - ※ 川崎市と比較すると「余暇の過ごし方」について関心が高い方が多くなった
これは非日常的な体験をすることによって得られる学びだと考えられる
 - ※ プログラム全体を通して働く＝社会参加することへの意識が高まっている
 - ※ 川崎市と比較すると「モジュール6.金銭管理」、「モジュール19.余暇」への関心が高くなっている



※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< プログラムに参加して、利用者様が学んだこと（自由記述で36名の回答） >

- 社会に出ること、働くこと、チームワーク、協調性、コミュニケーションに関する学びがあった
- 普段とは違う場所、大勢の人の中で働くことで、事業所では見ることができない利用者様の一面/行動を見ることができたという声があった
- 支援者様から見ても、働くという経験を通じて多くの人と関わるこのプログラムが、様々な学びを生んでいることがわかる
- イベントに関わることで「働く」ことだけでなく、「余暇活動の充実」にもポジティブな影響があることが分かった
- プログラムを通じて得た課題を日頃の支援で活かしたいという声がある

新しい作業を行うことで就労の意欲につながった。プロスポーツの仕事に関わることで、興味を持ったり、応援したり、利用者さんの余暇の充実につながった。

お金を使うことの楽しさ、仕事とお金の結びつき、経験は財産だと考えているので、素晴らしい機会をいただいていると思っています。

普段接していないスタッフさんとのやりとりが楽しそうだったし、職員には見せない、きちんとした言葉遣いも見られた。施設内で注意してもできなかった身だしなみ、服装に気をつけていた。社会に出て学ぶ、はその通りだと感じた。

得意不得意が個々に大きく出て、日々の支援で実践、体験を取り組めるようにしていくと感じました。

慣れている場所ではなかったなので、良い意味で一人ひとり緊張感を持って作業に取り組んでいたのではないかと思う。

イベントという大勢の不特定多数の場であり、通りがかりの人に声をかけたり、笑顔で挨拶したりする「外」の顔を意識することは少ないので、とてもいい機会と思います。

初めての場所へのアクセスなど良い体験となったと感じました。

今回の就労体験の直前に企業に実習に行き、緊張となれない場所であまりかたかたしないこともあったようでした。自費研での就労体験は2時間で何か所か少しづつやってみる、少し「お店ごっこ」的な優しい雰囲気でしたので、自分への自信が少し戻ればなあと思っています。

新しい作業への経験、挑戦。

支援者も同じ立ち位置で一緒に働く姿を見せることによって、人から業務を教わる時の姿勢や忘れないようメモを取るといった行動の大切さを実感してもらえたと感じる。普段全くメモをとっていなかった方がメモをとる意識を持ちだした。継続していただきたい。

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

中での様子そのままの利用者もいましたが、硬い表情の利用者も接客で声が出ている姿が見られました。接客や事業所外での様子が見られるなどアセスメントが取れました。

今回は自分の個性や障害特性をよく知らない方々と共に働いたので、そのような自分が理解されていない環境でいかに自分の得意な仕事ややりたい仕事を示すか、いかに他者と接するかを実践的に学べる機会になったと存じます。

不特定多数の人たちと接し、新鮮さがあったと思います。

これまで知らなかった種類のお店を知りました。

見知らぬ多くの人たちの中で作業することにより「見られている」という意識が高まり、作業に対する姿勢に変化が表れたと感じる。

注意されると仏頂面になることがあります。今回、鼻を触った手を消毒するように言われて、アルコールスプレーを手にかけていただいたのですが、“傷にかかった”と不機嫌になったようです。素直に「はい」「ありがとうございます」「大丈夫です」と言った方が、双方気持ちよく過ごせることを体感したと思います。自分の思い通りにならなくても機嫌を損ねないようなメンタルコントロールスキルを身につけるために、さらに経験を積んでほしいと考えています。

地域へ参加することを学べたと感じた。

大会関係者やお客様、他の事業所の方との交流を通してあいさつの大切さを実感できたのではと思いました。

大きな会場で作業を行うことで、より達成感が高まっているように感じた。

一度でも働いた経験がある方と、学生で経験がない方の違いがよくわかりました。一度でも働いた経験があると、身だしなみ、挨拶、態度などベースができており、多様な経験ができるチャレンジできる時間になり、学生さんは「お金をもらって働くとは？」体験者と親御さんの意識が変わるきっかけの時間になったかもしれません。対お客さんの仕事の場合、足を組まない、食品を扱う仕事であれば、顔や鼻を触ったら手を洗うかアルコール消毒をするなど、通常的生活では、あまり意識しないところに意識を向けていく経験になった。

体験時間が短かったのでまだ変化がわからない。

普段行っている作業と異なり、成果がはっきり見える、イメージできることで働くことにやりがいを感じていただけたのではないかと考えます。お客様に喜んでいただけることはとてもいい機会であった。

通常、受け身で先に準備がされている環境の中からその場で変更がある「生」の職場環境において、予定通りにいかないことや他者とのコミュニケーションの重要性、自分自身で得意苦手を決めつけない、体力が思ったよりなかったなどの気づきがあったようです。

重労働になる中で自分のペースをキープしながら進められた。

働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、また各個人一人ひとりが勤労観や職業観をはぐくむことができたと感じました。

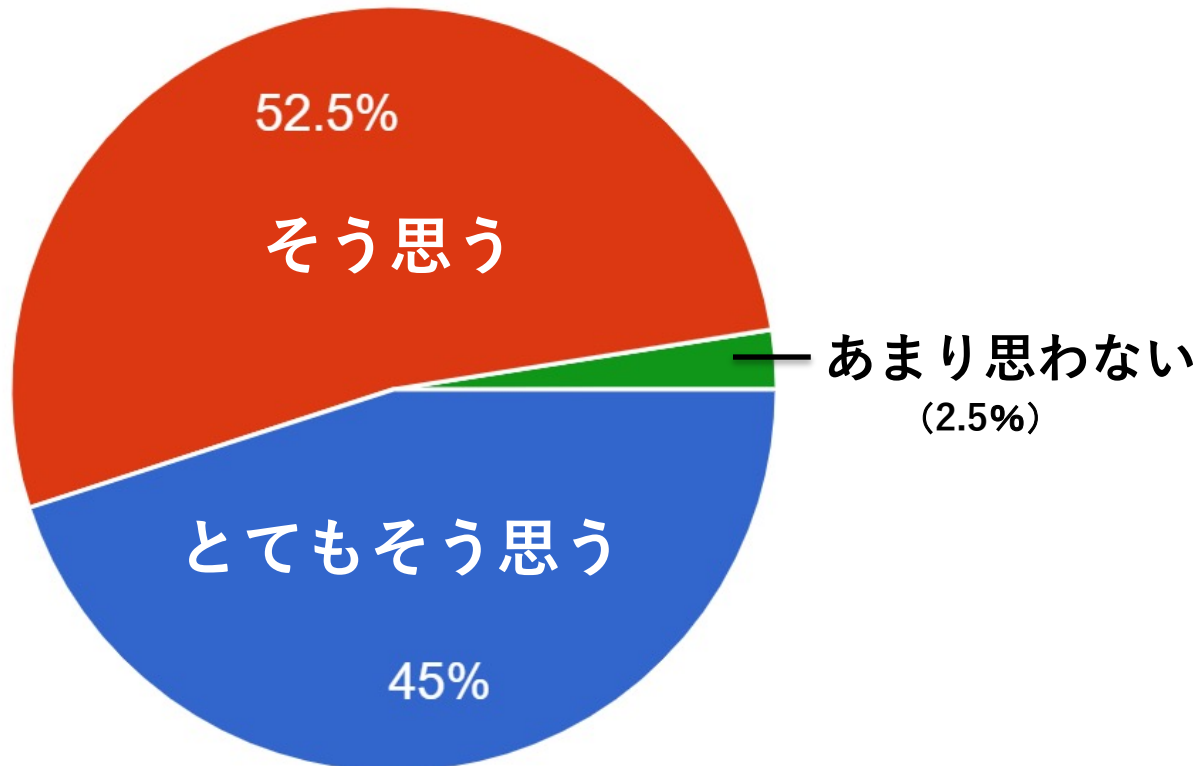
センター外の人間とのコミュニケーションの取り方、声のかけ方を検討されていたり、作業系の業務を担当したことでオフィスワークを希望していた方の職業選択の幅が広がった。

アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< プログラムを通じて利用者様が学んだことはこれからの生活や社会に出るときに
役立つと思うか >

- そう思う方が9割
- あまり思わない方が1割未満



アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< プログラム終了後に利用者様と振り返りの場や、感想や思いなどを共有する場を設けているか >

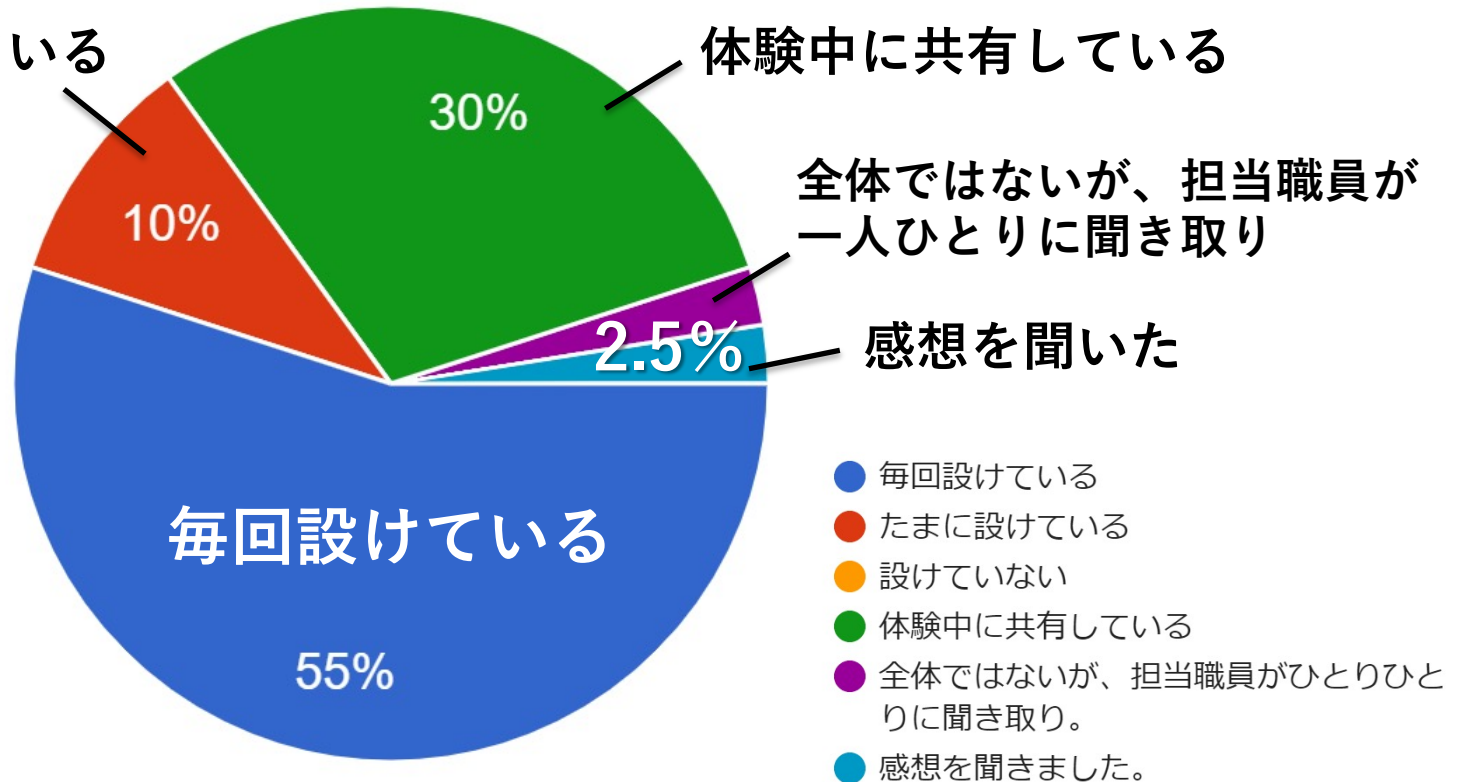
■ 毎回設けている方が5割

■ 体験中に共有している方が3割いることから、プログラムを通じて利用者様とコミュニケーションをとる機会になっていることが推測される

※川崎市と比較すると毎回設けている方が1.5割↓、体験中に共有している方が1割↑

たまに設けている

体験中に共有している



アンケート調査・検証結果④

プログラムに同行・見学参加した川崎市以外の福祉事業所支援員様アンケート結果（有効回答数：40名）

< その他、感想等（自由記述で17名の回答） >

- 利用者様にも支援員様にも「働く」とは何かを考える機会となっている
- 支援者様側からはアセスメントの場として有用な機会であることがわかる
- 支援者様にとっても日頃の支援の工夫を考える機会にもなっている
- 経験や交流の場としてプログラムが貴重な機会となっている
- 支援者様だけでなく、利用者様のご家族や地域の方にも存在の周知、社会参加への選択肢を考える機会にもなっている

トイレ掃除の一部もやれるといいのかな。トイレットペーパーくずが多かったのが気になりました。便のついたパンツもありました。感染予防しながら、他に何ができるかもう少し考えてみます。

今年度はコロナ禍という事もあり、日程調整が難しく、今後はもっと参加できればと思っています。

さらに可能であれば、その日のお仕事内容を詳細に説明し、目的が何か、そして目標設定を何にするかを決められたらなお良かったと思いました。

他の事業所の作品（商品）を理解し販売する機会となりました。支援者として、子供支援センターのイベントに参加することができて大変いいと感じました。

コーヒー売場の方がとても丁寧な言葉で細かく指示をくださったようで（お客様に両手でお渡ししてください、ありがとうございますをお願いします、など）、やりやすかったみたいです。逆に「適当に」はかえって難しいタイプなのでありがたかったです。

他の事業所の利用者と交流できたらよいなと思いました。

アルビ側のスタッフの方も非常に丁寧で、みなさん安心されたと思う。アルコールをかなり飲まれているサポーターも多いので、駆け付けられる距離に支援者がいたほうが良い。実際、酔った方に話しかけられ対応した。話しかけられたのが利用者にはなく自分でよかったと思った。

コロナでイベントごとが少ない現状におきまして、楽しめる良い機会だったと思います。今回は貴重な就労体験の場をいただきありがとうございました。今後もし機会がございましたらぜひ参加させて戴いたく存じます。

一緒に食事をする時間をいただけて良かったです。

今後の就労に向けて、どのような可能性があるかを考える機会になりました。ありがとうございました。

貴重な機会を設けていただきありがとうございました。通常級に在籍していますので、就労体験先は家庭で探しています。就労支援センターでの高校生受け入れを中心に、機会があればボランティアにも参加していますが、報酬をいただけることはありません。本日いただいた1000円の入った封筒を大事そうに、お小遣いとは別に管理していました。うれしそう姿を見て、私も温かい気持ちになりました。残念ながら、知的障害がある高校生には、日常的なアルバイト先がありませんので、このような機会は本当に貴重です。今は、働くって楽しい！お金をもらえるって嬉しい！を、たくさん経験して、自分の適性を知り、就労へのモチベーション、意欲を育ててほしいので、是非また企画していただけると嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。また、アンケート回答の機会を設けていただくと、きちんと振り返りができるので助かります。ありがとうございました。

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。私の方が学ぶことがたくさんありました。引き続きよろしく願いいたします。

どこまでのことができるか伝えるツールがあるとよかったです。体力はある方とか等の情報。座ってて良いと言われるとずっと座っているので。

事業所に通う皆さんの活動を多くの人たちに知っていただくことができました。（ご家族も活動を知る機会となった）

今回、専門学校を新卒で就労移行を利用している方がおり、就労経験も社会経験も未熟な中でとても刺激的で未来につながる体験が、支援者の想像を超えた気づきを各自が持てたのは正直びっくりしたと同時にもっとこのような活動を増やしていきたいと思いました。精神疾患をお持ちの方には時間がとても長かったため、調整がきくかいいと思いました。このような機会をまた検討いただければ幸いです。